

～令和7年度前期～

# 大学の開放授業講座 受講生募集案内

対象：  
県内在住  
55歳以上  
の方

一般の学生と  
一緒に  
学んでみませんか？



埼玉県マスコット「コバトン」

様々な分野の授業を  
開放しています



## 実施大学

- 聖学院大学  
(上尾市)
- 日本薬科大学  
(伊奈町)
- 東京国際大学  
(川越市)
- 東邦音楽大学  
(川越市)
- 埼玉県立大学  
(越谷市)
- 埼玉東萌短期大学  
(越谷市)
- 埼玉大学  
(さいたま市桜区)
- 城西大学  
(坂戸市)
- 西武文理大学  
(狭山市)
- 十文字学園女子大学  
(新座市)
- 東京電機大学  
(鳩山町)
- 埼玉工業大学  
(深谷市)
- 東都大学  
(深谷市)
- 文京学院大学  
(ふじみ野市)
- 日本工業大学  
(宮代町)
- 淑徳大学  
(三芳町)
- 武蔵丘短期大学  
(吉見町)
- 日本社会事業大学  
(東京都清瀬市)

## ～ 目 次 ～

### 【共通事項】

共通事項	2 ページ
------	-------

### 【各大学のページ】

聖学院大学（上尾市）	4 ページ
日本薬科大学（伊奈町）	9 ページ
東京国際大学（川越市）	15 ページ
東邦音楽大学（川越市）	17 ページ
埼玉県立大学(越谷市)	20 ページ
埼玉東萌短期大学(越谷市)	24 ページ
埼玉大学(さいたま市桜区)	26 ページ
城西大学(坂戸市)	28 ページ
西武文理大学(狭山市)	35 ページ
十文字学園女子大学(新座市)	38 ページ
東京電機大学(鳩山町)	42 ページ
埼玉工業大学(深谷市)	46 ページ
東都大学(深谷市)	50 ページ
文京学院大学(ふじみ野市)	53 ページ
日本工業大学(宮代町)	56 ページ
淑徳大学(三芳町)	59 ページ
武蔵丘短期大学(吉見町)	62 ページ
日本社会事業大学(東京都清瀬市)	64 ページ

### 【巻末資料】

大学別・科目別一覧表	66 ページ
------------	--------

【協定大学一覧】	69 ページ
----------	--------

## 共通事項

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、各大学にてマスク着用、入室前のアルコール消毒等をお願いする場合があります。  
また、受講方法が変更となる場合があります。  
詳しくは、各大学にお問合せください。

### 1 大学の開放授業講座について

県内在住の55歳以上の方を対象に、生活の充実や社会参加のきっかけづくりとしていただくため、県と県内・近隣にキャンパスを構える23大学が協力し、授業科目の一部を開放いたします。また、授業は一般の学生と一緒にいきます。

「学ぶこと」に意欲あふれる元気な皆様の積極的なお申込みをお待ちしております。

### 2 応募資格

県内在住で昭和45年4月1日以前に生まれた方

### 3 授業科目・担当教官・定員・受講料など

各大学のページまたは巻末の「大学別・科目別一覧表」をご覧ください。受講科目の概要については各大学のページに掲載しています。  
講義内容の詳細をお知りになりたい場合は、各大学へ直接お問い合わせください。

時間割などについて変更があった場合は、県専用ホームページに掲載いたしますのでご確認ください。

#### ●県専用ホームページURL

<http://www.pref.saitama.lg.jp/a0603/4-rikarento.html>

埼玉県 大学の開放授業講座

検索



### 4 単位等

単位は認定されません。

5 申込期間

令和7年2月1日から各大学が指定する締切日まで

6 申込先・方法

各大学のページをご確認の上、各大学が指定する申込み方法により、直接申し込んでください。

7 個人情報について

個人情報につきましては、各大学において適正な管理と保護に努めております。申込み時に記入していただいた個人情報については、各大学において、本開放授業講座に関すること、申込みに付随する統計処理に関すること、実施する行事等の案内に関すること以外の目的には使用いたしません。

8 通学について

原則として、公共交通機関やスクールバスにより通学してください。

※大学によっては自家用車による通学が可能な場合があります。詳しくは各大学のページをご確認ください。

9 受講について

各大学の規則に反した場合は、受講をお断りする場合があります。

## 1 講座名・定員など

### (1) 授業科目

実施時期	科目名	曜日・時限	授業時間	定員
【大学】 2025年度 春学期 (4月～9月)	キリスト教概論A (※1)	火曜4限 or 金曜1限 or 金曜3限 or 金曜5限	14:40～16:10 9:00～10:30 13:00～14:30 17:00～18:30	若干名
	法学	月曜1限 木曜4限	9:00～10:30 15:20～16:50	若干名
	アメリカの社会と文化	火曜4限 金曜4限	15:20～16:50 15:20～16:50	若干名
	アメリカ大衆文化	月曜4限 木曜4限	14:40～16:10 15:20～16:50	若干名
	日本文学概説	金曜4限 金曜5限	15:20～16:50 17:00～18:30	若干名
	歴史と文化	火曜3限 火曜4限	13:00～14:30 15:20～16:50	若干名
	英米児童文学 (※2)	月曜3限 オンライン	13:00～14:30	若干名
	精神保健福祉制度論	火曜5限	16:20～17:50	若干名
	福祉心理学	木曜2限	10:40～12:10	若干名

※1: 4クラスのうち、1クラス選択

※2: オンライン授業含む

※ 授業回数について

◇週1回授業 (15回)

キリスト教概論A

◇週2回授業 (30回・週1回2時限連続を含む)

法学、アメリカの社会と文化、アメリカ大衆文化、日本文学概説、歴史と文化、英米児童文学、精神保健福祉制度論、福祉心理学

※ 受講人数により開講しない場合がございます。

※ 学事スケジュールの都合により一部授業日等変更となる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

※ 授業は4月11日(金)から開始します。

(2) 場 所

聖学院大学キャンパス

JR 高崎線宮原駅から徒歩15分、または学生バス

JR 埼京・川越線西大宮駅から学生バス

JR 埼京・川越線日進駅から徒歩15分

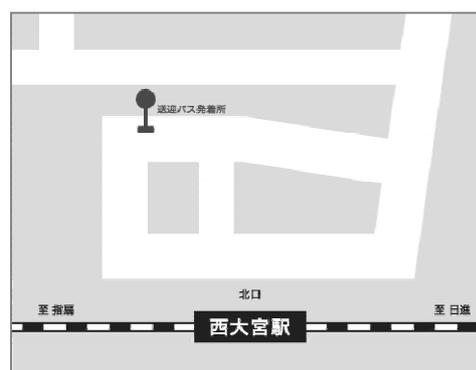
※学生バスは利用券を購入いただきます。

※車での通学はできません。

【宮原駅西口(高崎線)のりば】



【西大宮駅西口(埼京・川越線)のりば】



2 受講料等

- (1) 受講料 週1回科目 5,000円  
週2回科目 10,000円

※ 受講料は、後日指定方法にて納入いただきます。

※ 一旦納入された受講料につきましては、お返しすることができませんので、あらかじめご了承ください。

- (2) その他 教科書等の教材は自己負担によりご用意いただきます。

3 受講の申込み

- (1) 申込期限 令和7年2月28日(金) 消印有効

- (2) 申込先 〒362-8585 上尾市戸崎1-1  
聖学院大学 学務部教育支援課 リカレント教育係  
電話：048-780-1801  
E-mail：acadaffairs@seigakuin-univ.ac.jp

(3) 申込方法

E-mail または はがきにて、以下の事項をもれなく記入のうえ、お申し込みください。

- ① 郵便番号、住所、電話番号
- ② 氏名
- ③ ふりがな
- ④ 年齢（令和7年4月1日現在）
- ⑤ 生年月日
- ⑥ 性別
- ⑦ 受講希望科目（希望順に記入、何科目でも可）
- ⑧ 学籍番号 ※受講経歴のある方のみ

(4) 選抜方法

定員を超える申込みがあった場合は、抽選により受講者を決定します。  
 （受講の可否および受講決定科目は申込者全員にお知らせします。）

(5) その他

受講許可科目、ガイダンス日時等は3月20日前後にお知らせいたします。  
 その際に、個人調書等のご提出をご案内いたします。  
 申し込み後、都合により受講できなくなった場合は、早めにご連絡ください。

社会情勢(コロナウィルス感染状況等)ならびに授業担当者の都合により、授業の一部をオンラインにて受講いただく可能性がございます。その場合は、大学ではなくご自宅等での受講となりますので、インターネット通信環境・インターネットに接続可能な端末等が必要です。通信料などは受講者負担です。

以上の点につきましても、予めご了承の上でお申し込みくださいますようお願いいたします。

オンライン授業を受講いただく際に必要となる操作につきましては、大学ホームページ(※)に説明動画を掲載しておりますので、併せてご確認ください。

(※)

[https://www.seigakuin.jp/events/11\\_learn/](https://www.seigakuin.jp/events/11_learn/)

上記URL内「大学によるリカレント教育」をご参照ください。

4 各授業科目の概要及び担当教員

<p>キリスト教概論A 【木村 太郎】</p>	<p>初めてキリスト教に触れる学生たちへの理解しやすいキリスト教入門となるように心がけつつ、春学期は、主としてキリスト教を成り立たせている諸要素について俯瞰し、その中心にある聖書の前半部分の旧約聖書について学ぶ。</p>
<p>法学 【渡辺 英人】</p>	<p>「法を守る精神・法令遵守と責任」 「法学」では、みなさんが市民社会に参加するために必要な「ルールと手続き」について学びます。法は人と人が社会の中でいかに上手く生活していくか、という目的のために存在します。いまから法の意味と目的をよく理解し、責任ある個人、良き市民として、社会に参加してください。将来、どのような職業に就いても、この授業で学んだ内容が、必ず役に立ちます。講義内容の中心は「法の概念」「市民社会の法」「消費者と法」「知的財産権」などです。</p>
<p>アメリカの社会と文化 【江崎 聡子】</p>	<p>20世紀はアメリカの世紀だったと言われる。政治的にアメリカ合衆国は、二度の世界大戦に勝利し、自由と民主主義を旗印に超大国としての覇権を確立していった。そして経済や文化の側面においても、第二次大戦以前よりすでに、アメリカ方式やアメリカ的生活様式は世界各国に輸出され、他の欧米先進国に浸透していった。日本もその強い影響下にあったことは間違いない。 この授業では、20世紀初頭から第二次世界大戦直後までに見られた多様なアメリカ文化の側面や要素をいくつか取り上げ、歴史的資料を分析しながら、その歴史的な脈や現代社会への影響を考察する。授業の進め方の詳細に関してはガイダンス時に説明する。</p>
<p>アメリカ大衆文化 【畠山 宗明】</p>	<p>未定</p>
<p>日本文学概説 【木下 綾子】</p>	<p>日本文学入門。これから4年間、研究を進めていく上で知っておきたい、日本文学によく登場する概念や事項、基礎的な知識を学びます。 前半は、まずは、書物の装訂と漢字から仮名が作り出されていく過程をたどります。次に、神話や物語、また現代にも見られる、高貴な生まれの主人公が中央世界から疎外され、さすらって苦難を乗り越えたり、時にはそのまま亡くなってしまう「貴種流離譚（きしゅりゅうりたん）」という話型に着目します。そして、物語における史実と虚構の問題や、同時代と後世の読者が物語をいかに解釈し、自分の課題に向き合ったかを考えます。後半は、流離のテーマが天変地異や災害、政権交代によって「無常・遁世・漂泊」という描かれ方に変化する様相を追います。その次に、和歌において修辞技法がどのように磨き上げられていったかを探ります。 以上のように、文学史上の概念をほぼ時代順に追うことで、それぞれの時代に特有の精神や思想、美意識に迫ります。</p>
<p>歴史と文化 【阿部 能久】</p>	<p>特に日本中世における仏教諸宗や僧侶たちの動向を手がかりに、その時々の権力者や民衆が宗教に何を求めていたのか、そして、仏像をはじめとする優れた仏教美術作品が制作された背景にどのような願いが込められていたのかについて解説していく。</p>
<p>英米児童文学 【松本 祐子】</p>	<p>この授業では、必ずしも読者を子どもと想定していたわけではない昔話からイギリス児童文学の始まりに至るまでの流れ、以後の児童文学に決定的な影響を与えた古典的作品の意味、ファンタジーとリアリズムの果たす役割、さらには現代の児童文学の抱える諸問題について触れながら、英米児童文学の歴史と概要を学んでいく。</p>
<p>精神保健福祉制度論 【未定】</p>	<p>①精神障害者に関する制度・施策の理解 ②精神障害者の医療に関する制度 ③精神障害者の生活支援に関する制度支援に関する制度 ④精神障害者の経済的支援に関する制度的支援に関する制度</p>

福祉心理学 【石原 まほろ】	講義の前半では、主に援助者に起こっていることについて心理学側面から学び、後半では福祉現場において、援助者・被援助者・援助場面に起こりうることについて具体例を紹介し、各事例の心理社会的課題や支援について解説し、受講者と共に対人援助について考えていきたい。また、話題に上ることの多い虐待・DV、高齢者支援、貧困がもたらす心理状態と課題、障害とソーシャル・インクルージョン、セルフヘルプグループなどについては、心理的側面から詳細に述べていきたい。ほぼ毎回受講者間でのグループディスカッションを通して学びを深めていく予定である。
-------------------	--

にほんやっかだいがく

日本薬科大学

## 1 講義名・定員

## (1) 開放講義について

科目名	担当教員	曜日	時限	定員	備考
生活習慣病学* (薬学科4年)	教授 樋口敏幸	月	1	50名 程度	1限 9:15~10:45 2限 11:00~12:30 昼休 12:30~13:30 3限 13:30~15:00 4限 15:15~16:45 5限 17:00~18:30
循環・泌尿器系疾患と薬 (薬学科3年)	教授 松田佳和	月	1		
本草学* (薬学科4年)	教授 山路誠一	月	1		
薬学化学* (薬学科1年)	准教授 高山博之	月	2		
公衆衛生学 (医療ビジネス薬科学科3年)	教授 村橋毅	火	1		
人体を構成する器官 (薬学科1年)	教授 櫻田誓	火	2		
病原微生物学 (薬学科2年)	教授 渡邊峰雄	火	2		
健康食品学 (医療ビジネス薬科学科4年)	教授 高橋徹	水	2		
運動生理学 (医療ビジネス薬科学科2年)	准教授 縣右門	木	1		
薬と化学Ⅱ (薬学科3年)	講師 片岡裕樹	木	1		
実践医療薬学* (薬学科6年)	教授 勝山壮	木	1・2		
健康科学概論 (医療ビジネス薬科学科1年)	准教授 篠崎文夏	木	2		
悪性新生物と薬 (薬学科4年)	准教授 井出直仁	木	2		
基礎化粧品論 (医療ビジネス薬科学科2年)	教授 井上俊夫	金	3		
総合薬学科学(科目選択有) (薬学科1年)	准教授 齋藤博	不定期	不定期		

！注意！授業の都合上、上記の曜日・時限が変更になる可能性もございます。ご了承ください。

- \*印の講義は8～10回、それ以外の講義は14～16回を予定しています。
- お申込の際は、「5 各講義の概要及び担当教員」をご参考にしてください

## (2) 講義受講にあたっての注意事項

- 担当教員は都合により変更になる場合があります。
- 曜日・時間・講義室が変則的になる場合があります。その際は追ってご連絡します。
- 講義で使用する教科書は追ってお知らせしますので、書店やインターネット等を通じて各自でご購入下さい。
- 本学はお茶の水にもキャンパスがあります。2つのキャンパスで同時に授業を行うため、講義によってはオンライン講義(オンデマンド配信)になる可能性があります。その際はご自宅での受講または本学での教室での受講となりますので、インターネットに接続できる端末・インターネット通信環境が必要となります

## 2 受講料・受講の申込み

(1) 受講料 1科目(半期)につき10,000円

※教科書等の教材は自己負担によりご用意いただきます。

(2) 申込期限 令和7年3月19日(水) 必着

(3) 申込方法

以下の事項をもれなくご記入の上、下記お問合せ先に郵便はがき、FAX、またはメールでお申込みください。

- 住所
- 氏名(フリガナ)
- 性別
- 年齢(令和7年4月1日現在)
- 電話番号
- メールアドレス
- 受講希望講義・担当教員名(重複のない限り何科目でも可)

なお、スマートフォンあるいはパソコンを利用した Forms(受講申込フォーム)によるお申込みも可能です。下記QRコードを読みこむかURLを入力してお申込みください。

【大学開放授業講座 2025年度 春学期 日本薬科大学受講申込フォーム】



<https://forms.office.com/r/RypWSDqgMi>

### 3 講義場所・お問い合わせ先

〒362-0806 埼玉県北足立郡伊奈町小室10281

日本薬科大学さいたまキャンパス 地域連携室・開放講座係担当 阿部彩夏

電話：048-721-6249 (直通)

FAX：048-721-7305

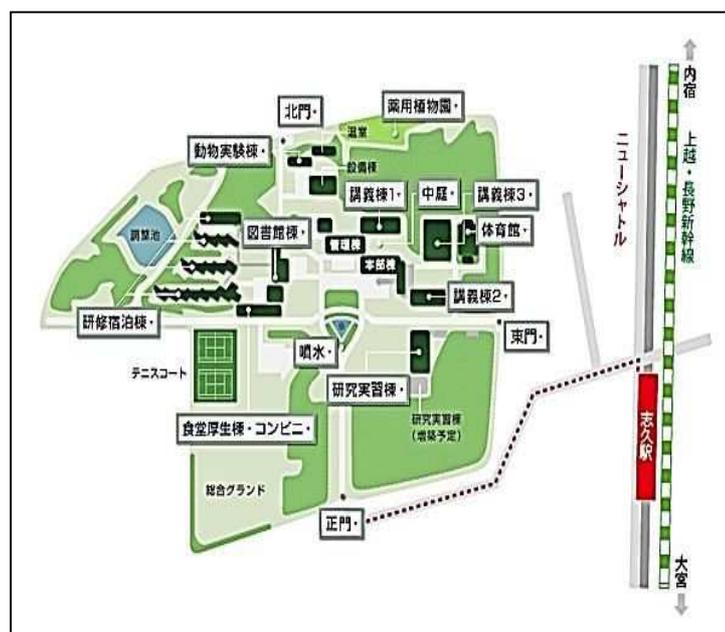
E-mail：a-abe@nichiyaku.ac.jp

▶埼玉新都市交通 (ニューシャトル)  
志久駅から徒歩5分

▶JR上尾駅・蓮田駅 からバスで約15分  
日本薬科大学前バス停下車

◎自転車・自動車通学も可能です。

通学についてお気軽にご相談ください。



### 4 受講確定について

- 前期の講義は4月より順次開始予定です。
- 申込者多数の場合は抽選になる可能性があります。
- 受講者が決定しましたら、受講案内・講義日程等の詳細を、3月24日(月)前後に文書でお知らせします。
- 申し込み後、都合により受講できなくなった場合は、早めにご連絡ください。一度納入された受講料は返金できませんので、予めご了承ください。

※ 講義に先立ち、「開放講座履修ガイダンス」を下記の日程にて行います。  
大学を利用する際についてのご説明・校内のご案内を致します。是非ご参加ください。

ガイダンス日：2025年4月1日(火) 10:00~11:00(1時間程度)

## 5 各講義の概要及び担当教員

生活・環境・健康・運動生理系	基礎化粧品論 (教授 井上俊夫)	基礎化粧品論を学ぶ意義は、皮膚科学の基礎知識、製品成分とその効果の理解、化粧品の安全性や規制に関する知識を得ることにあります。これらの知識は、自身の肌に合った適切なスキンケア製品を選び、使用するために重要であると同時に、化粧品や美容業界の動向や消費者ニーズを深く理解することにもつながります。これにより、この分野でのキャリアを目指す人々にとって不可欠な業界知識を習得することができます。
	実践医療薬学 (教授 勝山壮)	病院や薬局の薬剤師は、患者情報を共有し、円滑な連携関係を構築しています。近年、地震や洪水、火災などの大規模災害時に、薬剤師がその専門性を発揮し、救急・災害医療チームの一員として活動しています。本講義では、薬剤師が行うべき活動内容や災害に備えた準備体制について学びます。また、実際に震災等で活動した薬剤師（担当教員）の講義を聞き、いくつかの災害状況を想定した課題に対し、薬剤師や薬学生としての行動や注意点についてグループディスカッションやレポート作成を行います。
	健康食品学 (教授 高橋徹)	健康に影響を与える栄養素や機能性成分について議論することで、栄養学等の考え方を身につけることを目的としています。ネットやテレビでは、魅力的な効果を謳った食品や機能性成分が数多く紹介されていますが、それらの情報を正しく判断できるようになることも本講義の重要な目的です。教員側からの情報提供だけでなく、参加者からの質問を取り入れ、講義内容の一部を設定する予定です。
	生活習慣病学 (教授 樋口敏幸)	日本は超高齢社会を迎え、疾病予防や健康維持への関心が高まっています。今後の医療には「健康づくり」を重視した総合的な保健対策が求められ、薬剤師には服薬指導に加え、疾病予防や健康維持への積極的な関与が期待されています。本講義では、生活習慣病（糖尿病、高血圧症、脂質異常症、肥満、虚血性心疾患、脳血管疾患、癌など）の病態やリスク要因を理解し、予防・治療・栄養管理を通じた地域保健活動の知識を深めます。
	公衆衛生学 (教授 村橋毅)	公衆衛生学は、個人や集団の健康増進と疾病予防を目的とし、社会に貢献する学問です。本講義では、公衆衛生の基本理念、疫学、保健統計、健康管理、環境保健、母子保健、高齢者医療、労働衛生、学校保健、保健医療制度などの分野について、基礎知識を習得できるよう解説します。さらに、環境汚染、生活習慣病、少子高齢化、精神疾患、貧困と健康など、現代社会で直面する課題を取り上げ、それらを取り巻く社会情勢を考察します。この学びを通じて、人々の健康づくりに貢献する視点を養います。

	<p>運動生理学 (准教授 縣右門)</p>	<p>運動生理学では、運動が身体にどのような影響を及ぼし、どのような変化が生じるのか、その現象と仕組みについての科学的知識を学びます。例えば、筋肉や心肺機能の変化、エネルギー代謝の調節、神経系の適応など、運動による多様な身体の反応を理解します。また、暑さや寒さ、高地環境など、さまざまな外的条件に対する身体の適応や順化についても、生理学的な観点から深く学び、実践的な知識を得られることを目指します。</p>
	<p>健康科学概論 (准教授 篠崎文夏)</p>	<p>ライフスタイルと健康との密接なかかわりを理解します。その中で健康増進・健康づくりに対する運動の重要性と健康な生活を送るために安全で効果的な運動の実践およびその指導に関する基礎的な理論を学びます。</p>
生物系薬学	<p>人体を構成する器官 (教授 櫻田誓)</p>	<p>「人体を構成する器官」では、人体の成り立ちを器官、組織、細胞の各レベルで理解できるようになるために、人体の構造、機能および調節に関する基本的事項を学びます。講義の際には、教科書を参照しながら配布するプリントに沿って講義を行います。</p>
	<p>病原微生物学 (教授 渡邊峰雄)</p>	<p>病原微生物は人に寄生し、その体を利用して増殖する生物であり、私たち人類にとっての「天敵」ともいえます。これに対抗するには、彼らの生存戦略を正しく理解することが必要です。この講義では、病原微生物がどのように人に取り付き、どのように人を傷害するのかを学びます。この知識は、医療現場や日常環境における感染症対策の計画と実施に役立ちます。</p>
化学系薬学	<p>薬学化学 (准教授 高山博之)</p>	<p>ほとんどの医薬品が有機化合物であることからわかるように、化学は薬学において重要な基礎科目の一つです。本講義では、化学結合の仕組み、有機化合物の構造、酸や塩基の概念などを電子論に基づいて解説し、これらの基礎的な考え方を深く学びます。これにより、医薬品の性質や作用の理解に欠かせない化学的知識を習得することを目指します。</p>
	<p>薬と化学Ⅱ (講師 片岡裕樹)</p>	<p>飲み薬の有効成分の多くは有機化合物で、抗体医薬品も分子の大きさは異なれど有機化合物です。一方、薬の対象であるヒトや菌・ウイルスも有機化合物の複合体です。薬の作用は、有機化合物である医薬品と生体との「化学反応の結果」と言えます。本講義では、医薬品の構造と作用の関係や化学的作用機序を学び、医薬品の名称が化学と密接に関わることも理解します。※基本的な有機化学・薬理学の知識があると理解が深まります。</p>
病気とクスリ	<p>循環・泌尿器系疾患と薬 (教授 松田佳和)</p>	<p>薬剤師は、他の医療従事者や患者さん・生活者から”薬の専門家”として信頼される必要があります。そのためには、自ら積極的に情報を収集し(学び)、他者に判りやすく伝えることが必要となります。そこで、本講義では循環・泌尿器系疾患の病態と薬物療法に関して、全学生にグループワークをし、判りやすくプレゼンテーションを行うスタイルを考えています。</p>
	<p>悪性新生物と薬 (准教授 井出直仁)</p>	<p>がん化学療法は、これまで殺細胞性化学療法薬やホルモン療法薬が中心でしたが、分子標的薬や免疫チェックポイント阻害薬の登場により、大きく変化しました。さらに、CAR-T療法やTCR-T療法などの免疫療法も登場し、がん治療の分野は急速に進展しています。そのため、ガイドラインは頻繁に更新されています。一方で、治療の選択肢が増えたことにより、実践的で専門的な知識がさらに求められるようになりました。この講義では、抗悪性腫瘍薬の薬理や、各種悪性腫瘍の病態、薬物治療に関する基本的な知識を学ぶことを目指します。</p>

漢方薬・生薬系	本草学 (教授 山路誠一)	本草とは「本草石之寒温」、すなわち「草石の寒温(薬の性質)に基づく」という意味に由来し、東洋の薬物学(Materia Medica)を指します。漢方薬や生薬を本質的に活用するには、現代科学的な解釈だけでなく、本草という東洋医学的な理解が欠かせません。また、本草書は創薬における有用な情報源ともなり得る「温故知新」の学問でもあります。本講義では、古代の生薬に関する本草書をひも解くとともに、日本漢方の重要な書物である『傷寒論』や『金匱要略』にも触れ、漢方や漢方薬に関する東洋医学的な知識を深めていきます。
薬学の基礎 (実習含む)	総合薬学科学 (准教授 齋藤)	薬学を学ぶ準備として、化学や生物、物理、数学といった基礎的な内容をわかりやすく学べる講義です。この講座は、1回完結型で参加できるスタイルになっています。高校の時に学んだ内容を振り返りながら、興味のある分野や苦手な部分を重点的に学び、薬学の基礎をしっかりと身につけることを目指します。※ 基礎講義(8回)を受講(科目を問わず選択可)後、化学・生物・物理・数学の中から1つを選択(各8コマ)して受講してください。4種類の実験講義(各2コマ)も1種類受講可能です(人数によっては抽選となります)。なお、実験講義は2コマ連続の受講となります。

## 1 講座名・定員など

## (1) 授業科目

授業科目名	担当教員	授業期間	曜日	時限	開講キャンパス
高齢者福祉	齋藤 敏靖	4月4日～7月8日	火・金	3	川越第1キャンパス

\*授業科目、曜日・時限については、令和7年（2025年）1月時点での予定で、変更になる場合があります。

\*授業時間は下記のとおりとなります。

3時限 13:20 ～ 15:00

\*受講前の3月下旬頃にガイダンスを行います。

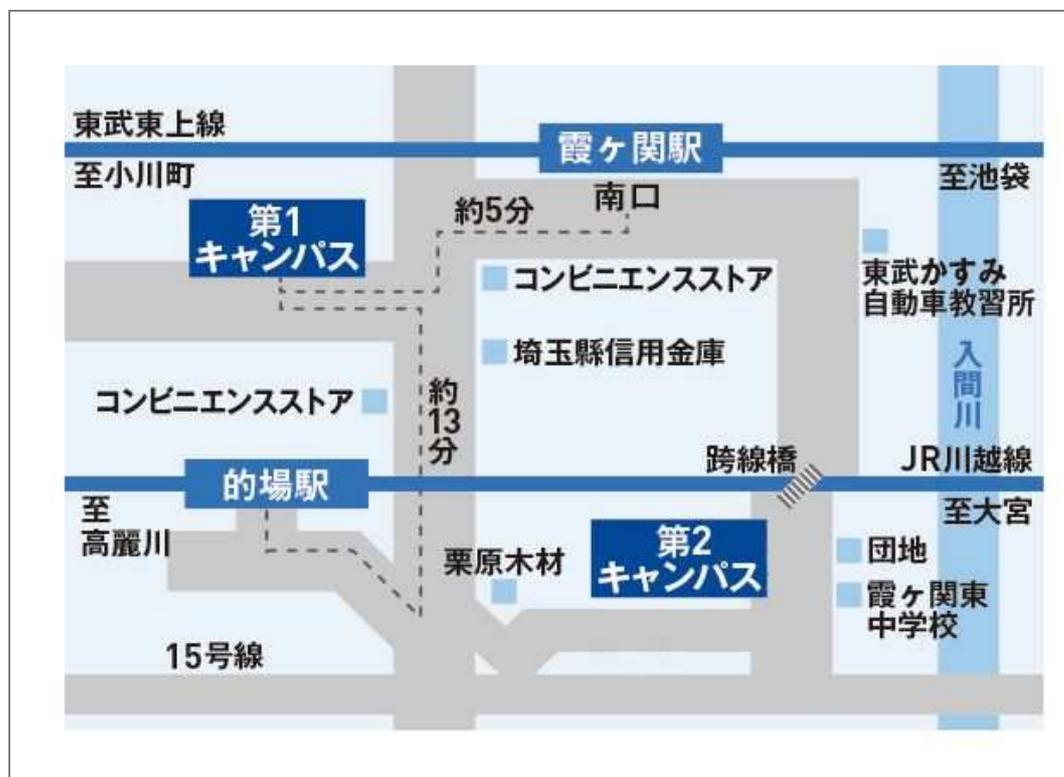
\*定員は若干名です。

## (2) キャンパス案内

## &lt;川越第1キャンパス&gt;

東武東上線「霞ヶ関」駅下車南口 徒歩約5分 / JR川越線「的場」駅下車 徒歩約13分

※受講の際は公共交通機関（電車）をご利用ください。自動車での通学はできません。



## 2 受講料等

- (1) 受講料 10,000 円
- (2) その他 教材費は自己負担によりご用意いただきます。

## 3 受講の申込み

- (1) 申込期限 **令和7年3月7日(金)** (必着)

- (2) 申込先

〒350-1197 埼玉県川越市の場北1-13-1

東京国際大学 第1キャンパス 教務課 リカレント教育担当：渡辺みゆき・鴛海（オシウミ）

TEL 049-277-5955・5852 FAX 049-234-8319

E-mail lckyoumu@tiu.ac.jp

- (3) 申込方法

はがき、FAX、E-mail のいずれかにより、以下の事項①～⑦を漏れのないよう記入の上、お申し込みください。

- ①郵便番号、住所
- ②氏名、フリガナ
- ③生年月日、年齢（令和7年4月1日時点での年齢）
- ④性別
- ⑤電話番号
- ⑥メールアドレス（お持ちの方）
- ⑦受講希望科目名、担当教員名

- (4) その他

受講許可科目、ガイダンス実施日時等は、3月中旬頃郵送にてお知らせいたします。

申し込み後に、都合により受講できなくなった場合は、早めにご連絡ください。受講前に申し出いただいた場合は、受講料はいただきません。

## 4 各授業科目の概要及び担当教員

<p>高齢者福祉 (齋藤 敏靖 教授)</p>	<p>本講義は、高齢者に対する支援理念・法律・支援制度・支援技法などについて学びます。更に、上記の歴史的背景や現状の課題について説明することで、学びを深めて行きます。また多くの視覚教材や資料を利用することで、受講者がイメージし易いように工夫して行きます。</p> <p>高齢社会において「老いる」意味を理解し、さらには、高齢者自身と家族にとっての社会保障制度、権利擁護のための社会システムの方向性を考え、これからの高齢者福祉を展望します。</p>
-----------------------------	---

とうほうおんがくだいがく  
東邦音楽大学

## 1 講座名・定員など

## (1) 授業科目

実施時期	科目名	担当教員	曜日・時限	授業時間	定員
前期	民族音楽学 A	鈴木	水 4	14:20～15:50	若干名
	音楽心理学 A	徳富	木 4	14:20～15:50	若干名

※授業開始は4月10日(木)を予定しています。

※授業回数は原則として前期15回となります。

※授業の曜日・時間等は3月中旬以降 予告なく変更になる場合がございます。

確定次第、県HP(共通事項3 募集案内)でお知らせします。

また、大学申込先までお問い合わせ下さい。

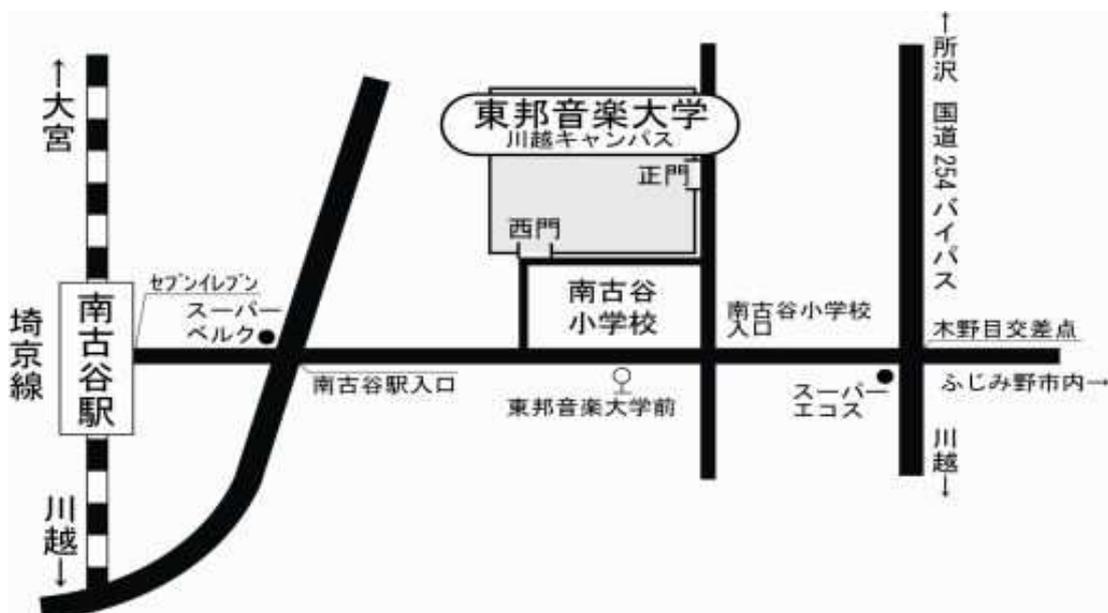
## (2) 受講場所

東邦音楽大学川越キャンパス

埼玉県川越市今泉84

JR 埼京線・川越線 南古谷駅下車徒歩約12分

※お車での通学も可能です(要事前許可申請)。



## 2 受講料等

- (1) 受講料 前期科目：1科目 10,000円 (税込)
- (2) その他 教科書等の教材は自己負担でご用意いただきます。  
(授業開始後、教材の用意が必要であれば担当講師より通知予定)

## 3 修了証

各受講科目の授業の3分の2以上に出席し、所定のレポート課題を提出することにより、「修了証」を発行いたします。

## 4 受講の申込・お問い合わせ先

- (1) 申込期限 **令和7年3月14日(金)必着**

- (2) 申込先 〒350-0015  
埼玉県川越市今泉84 東邦音楽大学  
大学の開放授業講座(リカレント教育)担当

電話：049-235-2157(代)(受付時間9:00-16:30)

FAX：049-235-1165

E-mail：shomu-k@toho-music.ac.jp

- (3) 申込方法

ハガキまたはE-mailにて、以下の事項をもれなく記入の上 お申し込み下さい。  
表紙もしくは表題に【開放授業講座(リカレント教育)受講希望】と明記して下さい。

- ① 氏名・フリガナ
- ② 年齢(令和7年4月1日現在)
- ③ 生年月日
- ④ 性別
- ⑤ 郵便番号・住所
- ⑥ 電話番号(昼間連絡が付きやすい番号)
- ⑦ 受講希望科目(複数科目の受講も可)
- ⑧ 通学方法(スクールバス、自動車、その他)

- (4) 選抜方法

定員を超える申込みがあった場合は、抽選により受講者を決定いたします。

- (5) お申し込みから受講開始までの流れ

1. ハガキまたはE-mailにて申込み
2. 受付締切後、受講の可否及び諸連絡を担当者より郵送にて通知(3月下旬予定)
3. 4月10日(木)授業開始予定

## ※ご注意

- ・お申し込み後、都合により受講できなくなった場合は、お早めにご連絡下さい。
- ・受講料の分割納入はできません。
- ・受講料お振込み後の受講キャンセルに伴う返金はできませんので、予めご了承下さい。

## 5 各授業科目の概要及び担当講師

<p>民族音楽学 A (鈴木良枝講師)</p>	<p>「民族音楽」と聞くと自分には馴染みのない、少し不思議な音楽と思いませんか？実は普段聞いているポピュラー音楽やテレビで流れている音楽には、様々な国の音楽の要素が散りばめられています。本講座では世界各国の伝統的な音楽や芸能を紹介し、その音楽が生まれた地域、その土地の生活習慣、信仰に加え、民族音楽学という学問の知識を深めることを目指します。</p>
<p>音楽心理学 A (徳富政樹講師)</p>	<p>この講義では音楽をテーマとした様々な心理学の研究についてお話いたします。音楽心理学の具体的な研究手法、年齢によって音楽についての記憶様式に変化があるのか、絶対音感と相対音感についてなどなど。また、教育場面に応用可能なモチベーションについても解説いたします。</p>

※内容及び担当講師は都合により変更になる場合がございます。

## 1 講座名・定員など

## (1) 授業科目

No.	科目名	曜日	時限 (注1)	受講期間	回数	授業 形式	定員
①	公的扶助論	火	4 限	4/8～7/22	14	対面 /オンライン	対面・オンライン 共に若干名
②	宗教学	水	1 限	4/9～7/23	15	対面	5 名
③	高齢者福祉論	水	4 限	4/9～7/16	14	対面	若干名
④	ソーシャルワーク 概論 I	木	5 限	4/10～7/24	15	対面	5 名

(注1) 時限・授業時間

1 限： 9：00～10：30

2 限： 10：40～12：10

3 限： 13：00～14：30

4 限： 14：40～16：10

5 限： 16：20～17：50

- ※ 科目、曜日、授業時間等は都合により変更になる可能性がございます。
- ※ 授業形式において、①公的扶助論は、対面授業とオンライン授業の選択が可能です。②～④の科目については、対面授業のみとなります。  
なお、対面授業の科目においても、オンライン授業（オンデマンド授業を含む）となることもあります。
- ※ すべての科目でインターネット授業支援システム「Webclass」(注2) を利用し、授業に関する連絡（資料配布・課題のお知らせ・レポート提出等）を行う場合があります。
- ※ ②宗教学について  
地域社会の宗教文化を学ぶことを目的とした科目です。個別の宗教団体や宗教紛争を解説する内容ではありませんのでご了承下さい。
- ※ ④ソーシャルワーク概論 I について  
授業中に毎回「Webclass」を使用します。  
出席確認、授業中の課題への解答、資料閲覧に必要ですのでタブレットやノートパソコンなどネットにアクセスできるものをご持参してください。  
なお、タブレット・ノートパソコンの基本的な操作についてのお問い合わせはお受けできません。
- ※ 成績評価はいたしません。よって、学期末試験を受験する必要はありません。

(注2) WebClass とは、本学で導入している e ラーニングシステム (学習支援システム) です。授業の教材・資料の閲覧やアンケート・レポート提出等に利用します。

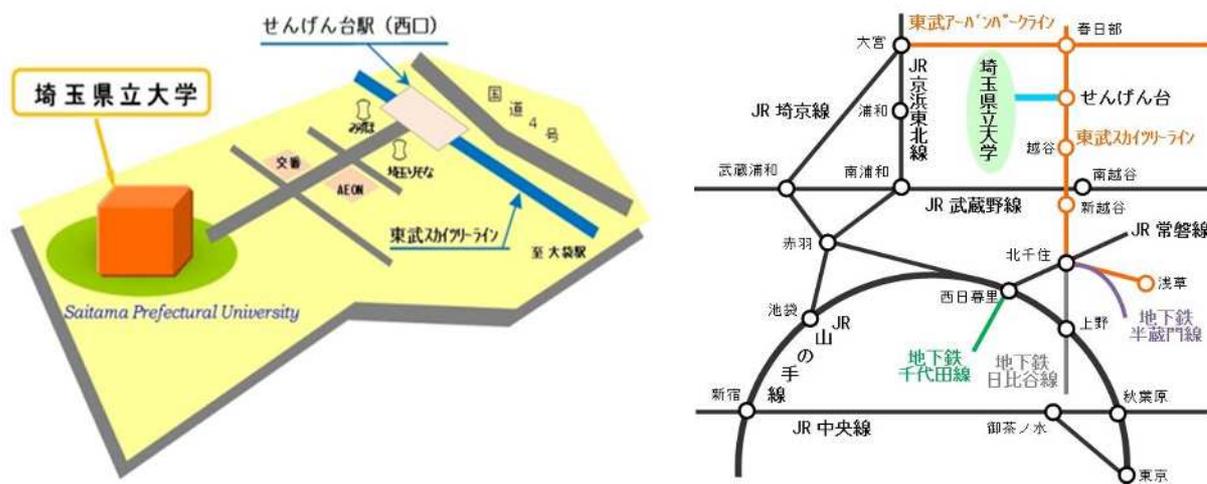
(2) 場所

埼玉県立大学 〒343-8540 越谷市三野宮 820 番地

東武スカイツリーライン「せんげん台駅」下車

西口よりバス：5分 徒歩：約20分

※ 自家用車、バイク等による通学は許可できません。



2 受講料等

(1) 受講料

- ・各科目毎に授業料が必要となります。
- ・受講料は受講決定後に振込となります。

※振込手数料は別途かかります。

科目名	受講料
公的扶助論	10,000円
宗教学	10,000円
高齢者福祉論	10,000円
ソーシャルワーク概論 I	10,000円

(2) その他

教科書等の教材を自己負担によりご用意いただく場合があります。

3 受講の申込み

(1) 申込期限 令和7年2月28日(金)

(2) 申込方法

次の応募フォームよりお申込みください。

<https://business.form-mailer.jp/fms/eb409f64271140>



お申込み完了後（送信後）に受付完了の自動返信メールが届きます。  
 応募フォーム以外（電話・FAX等）のお申込みは受け付けておりません。  
 受付完了メールが届かない、応募についての問い合わせ等ございましたら、  
 お問合せ先までご連絡ください。

- (3) お問い合わせ先  
 埼玉県立大学 地域連携センター  
 E-Mail [edec@spu.ac.jp](mailto:edec@spu.ac.jp)  
 TEL 048-973-4114
- (4) 選抜方法  
 定員を超える申込みがあった場合は、抽選により受講者を決定します。  
 受講の可否、受講決定科目は、申込期限以降（3月中旬までに）、申込者全員  
 にお知らせします。
- (5) その他
- ①申し込み後、都合により受講できなくなった場合は3月28日（金）までに  
 ご連絡ください。ただし、一旦納入された受講料につきましては、  
 原則としてお返しすることはできませんので、あらかじめご了承ください。
  - ②中止または受講方法の変更により受講できなくなった場合に限り受講料を  
 お返しいたします。
  - ③天候や社会情勢等により、受講方法が変更となる場合があります。  
 変更が生じた場合、受講者へ個別にご連絡いたします。  
 対面授業を予定している科目において、Zoom等のオンライン授業（オンデマ  
 ンド受講を含む）となる可能性もございます。  
 オンライン授業（オンデマンド受講を含む）の場合、大学ではなくご自宅等  
 において受講いただくこととなります。パソコン、タブレット等のインター  
 ネットに接続できる端末・インターネット通信環境がない場合、受講ができ  
 ませんのでご注意ください。  
 ご自宅等で受講いただく場合の通信料は、受講者本人のご負担となります。
  - ④本学では、病院等への実習を控えた学生もいることから、状況により感染  
 防止対策等をお願いすることがございます。ご協力お願いいたします。

#### 4 各授業科目の概要および、ねらい

公的扶助論 (大岡華子 准教授)	<p><b>【概要】</b>                  公的扶助は、貧困状態に陥った人々の最低限度の生活を保障する                  制度であり、社会保障制度の重要な一つの分野として、社会保険や                  社会福祉とともに重要な役割を果たしている。わが国の場合には、                  生活保護制度がこれに該当する。生活保護制度は、その目的の憲法                  25条に規定する理念に基づくものであり、生存権を保障することが                  明記されている。                  授業では、貧困・低所得者問題とは何か、公的扶助制度の歴史、                  生活保護制度の仕組みや動向・課題などについて講義する。また、                  低所得者に対する支援制度（生活福祉資金等）等についても紹介す                  る。</p> <p><b>【ねらい】</b>                  ①社会保障制度における公的扶助制度の役割を理解できている。                  ②現代の貧困問題の背景・状況を理解できている。                  ③生活保護制度の概要と課題を理解できている。                  ④生活福祉資金・生活困窮者自立支援法等低所得者に対する支援                  制度を理解できている。</p>
---------------------	---

<p>宗教学 (浅川泰宏 准教授)</p>	<p><b>【概要】</b>          超人間的存在に関わる私たちの感性や思考が織りなす文化が宗教です。本講義では、聖地、巡礼、山岳信仰、死者供養などの事例を扱いながら、日本の宗教文化を主な対象として、個人や地域社会と信仰世界の結びつきを考えます。本講義は対面授業を原則（一部オンデマンド授業）とし、グループワーク、身近な地域でのフィールドワーク、学修成果の共有など、学生が主体的に活動する形式を取り入れて実施します。自由・活発に思考を働かせながら、知性を鍛えていただきます。</p> <p>※注記：地域社会の宗教文化を学ぶことを目的とした科目です。個別の宗教団体や宗教紛争を解説する内容ではありませんのでご了承下さい。</p> <p><b>【ねらい】</b>          ①さまざまな人の営みに触れることで、「人間」に興味と敬意を持つ姿勢を養う。          ②学修を通して、自分のアイデアや考えを掘り起こし、形にする能力を養う。          ③多様な宗教文化の発見を通して、様々な価値が共生する社会像を探求する能力を養う。</p>
<p>高齢者福祉論 (小川孔美 准教授)</p>	<p><b>【概要】</b>          総人口が減少するなか、高齢者の増加により高齢化率が上昇を続け、2035年に33.4%で3人に1人、2060年には39.9%に達し、国民の約2.5人に1人が65歳以上の高齢者となる社会の到来が推計されている。この現実が突き付けてくる様々な課題を、正確にとらえ、これからの社会福祉、制度、政策や人々の生活を支援することについて多方面から考える必要がある。この科目では、とりわけ高齢者の身体的・精神的・社会的特徴や生活実態と社会情勢、福祉・介護について理解を深め、わが国における高齢者福祉制度の発展過程を学ぶ。さらに、相談援助活動に必要な介護保険制度や主な高齢者福祉・介護に係る他の法制度について、高齢者やその家族を支えるための介護サービス等の支援と関連づけながら学習する。</p> <p><b>【ねらい】</b>          高齢者の社会的、身体的、精神的特性を理解したうえで、高齢者はどのような生活課題、ニーズがあるのかについて、多様な視点から考察する。また、高齢者の生命や生活に関連する法制度を体系的に理解することで、高齢者保健福祉制度の位置づけを明らかにし、高齢者の「生活の質」(QOL; quality of life)向上のために支援を提供できるようにする。</p>
<p>ソーシャルワーク 概論Ⅰ (保科寧子 准教授)</p>	<p><b>【概要】</b>          ソーシャルワーク・専門的対人援助を行うために必要な基本理念、倫理、支援の考え方を学ぶ。相談援助実践の事例等を用いて、支援の役割および機能、多様な実践のなかの共通課題等を学び、支援を必要とする人々の背景を理解し、基本的な相談援助の在り方を考え、専門的援助者としての視点の涵養をはかる。</p> <p><b>【ねらい】</b>          ソーシャルワークの基盤となる理念・価値・倫理の理論を学び、それらがソーシャルワーク実践でどのように生かされているのかを理解する。</p>

さいたまとうほうたんきだいがく  
埼玉東萌短期大学

1 講座名・定員など

(1) 授業科目

科目名	担当教員	曜日	授業時間	定員
情報メディアとコミュニケーション	石川 卓磨	木	5 限 (16:30~18:00)	若干名
日本語表現	原田 桂	金	5 限 (16:30~18:00)	若干名

(2) 場所

埼玉東萌短期大学

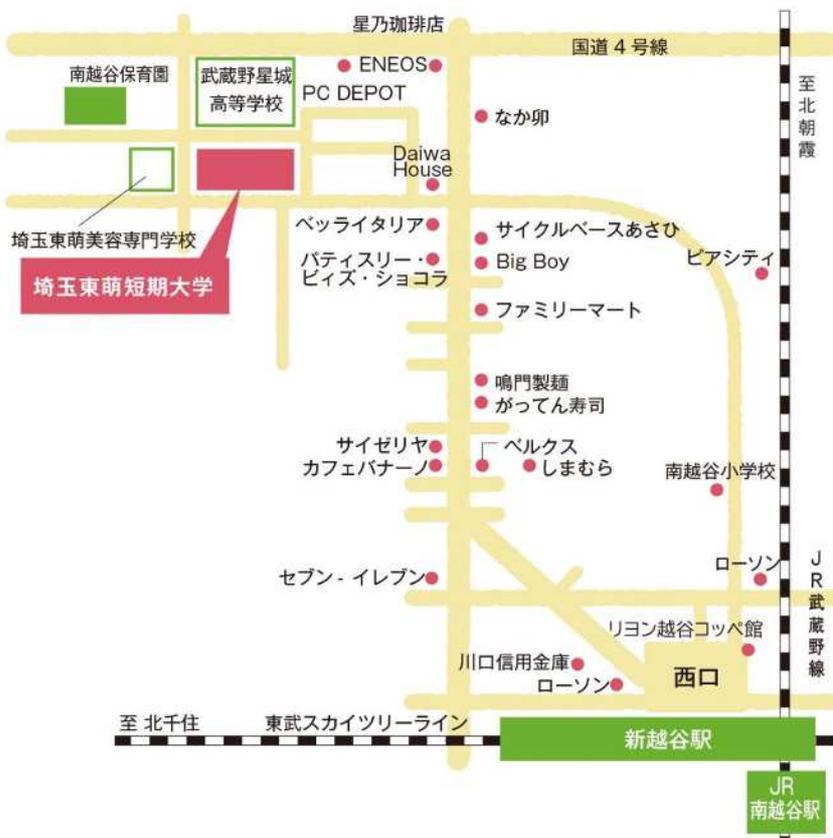
〒343-0857 埼玉県越谷市新越谷 2 丁目 21 番地 1

TEL:048-987-2345 (代表)

FAX:048-989-4550

<https://www.saitamatoho.ac.jp/access/>

東武スカイツリーライン「新越谷」駅・JR 武蔵野線「南越谷」駅より徒歩 15 分



※駐車場のご用意が出来ませんので公共の交通機関での来学をお願いいたします。  
(駐輪場はございます)

## 2 受講料等

- (1) 受講料 1科目(半期) 10,000円
- (2) その他 教科書、教材費等が必要な場合は自己負担でお願いします。  
受講料等の納入方法は、受講決定の方にお知らせします。

## 3 受講の申込み

- (1) 申込期限 令和7年3月14日(金)(郵送の場合消印有効)
- (2) 申込先 埼玉東萌短期大学 学務課  
E-mail:gakumu@saitamatoho.ac.jp  
〒343-0857 埼玉県越谷市新越谷2丁目21番地1  
FAX:048-989-4550
- (3) 申込方法  
E-mail、ハガキ、FAXのいずれかにより、下記①～⑥を記入のうえお申込みください。  
①住所  
②氏名・ふりがな  
③年齢(令和7年4月1日現在)  
④電話番号  
⑤メールアドレス  
⑥受講希望科目
- (4) 選抜方法  
定員を超える申込みがあった場合は、抽選により受講者を決定します。  
(受講の可否は申込者全員にお知らせします。)  
なお、受講人数により開講しない場合がございます。

## 4 授業科目の概要及び担当教員

<p>情報メディアと コミュニケーション (石川 卓磨講師)</p>	<p>保育・幼児教育の現場では、パソコンやスマートフォンを使って、動画や資料を作成する機会が増加している。そこで将来的に園の紹介動画や園だよりを作成できるようになることを念頭に、スマートフォンアプリのCapCutを使って動画製作を行い、その計画書をパソコンソフトのWordで作成する。この授業はグループワークを主体とし、学生同士でアプリやソフトの使い方を教えあいながら課題に取り組むことを通して、保育・教育現場における情報メディアの活用とコミュニケーションの実践について考える。</p>
<p>日本語表現 (原田 桂講師)</p>	<p>保育の現場において、正確かつ的確に用件を文章化する能力や伝達する対話力は必要不可欠である。そこで、基礎的な文章のルールや構造を確認しつつ、様々な文章(小説・詩・エッセイ・研究論文・新聞等)を通して、明確に表現するための日本語表現能力の向上を目指す。さらに、媒体の違う表現(漫画・映像等)のテーマを探る読解力を磨き、それを自らの文章によって表現できるように論理的思考を身に付けたい。また、レポートや小論文等、目的に合わせた形式の実践や、文章読解・作成能力検定など各種検定の紹介も兼ねて、日本語表現の向上を図る。</p>

さいたまだいがく  
埼玉大学

1 講座名・定員など

(1) 授業科目

科目名	担当教員	曜日	授業時間	定員
現代国際経済論	浅田 英克	火	19:40~21:10	5人

※前期（4月～8月）の授業期間で、授業は15回の予定です

(2) 場所

埼玉大学経済学部 さいたま市桜区下大久保255

【事務担当窓口：経済学部係（TEL：048-858-3286）】



2 受講料等

- (1) 受講料 1科目9,800円（振込手数料別途）
- (2) その他 教科書等の教材を自己負担によりご用意いただきます。

### 3 受講の申込み

- (1) 申込期限 令和7年2月28日(金)
- (2) 申込先 (下記メールアドレス宛にお申し込みください。)  
E-mail [eco-sodan@gr.saitama-u.ac.jp](mailto:eco-sodan@gr.saitama-u.ac.jp) (埼玉大学経済学部係宛)
- (3) 申込方法  
E-mail により、以下の事項をもれなく記入の上、お申し込みください。
- ① 住所
  - ② 氏名・ふりがな
  - ③ 年齢 (令和7年4月1日時点)
  - ④ 電話番号 (日中連絡が可能な番号)
  - ⑤ メールアドレス
  - ⑥ 受講希望科目
- (4) 選抜方法  
定員を超える申込みがあった場合は、抽選により受講者を決定します。  
(受講の可否は申込者全員にお知らせします。)
- (5) その他  
お申し込み後に、都合により受講できなくなった場合は早めにご連絡ください。ただし、一旦納入された受講料につきましては、原則としてお返しすることはできませんので、あらかじめご了承ください。

オンラインで受講頂く必要が生じた場合、大学ではなくご自宅等においてパソコン等の端末を利用し授業を受けて頂く形となります。そのため、パソコン、タブレット等インターネットに接続できる端末・インターネット通信環境がない場合は受講ができなくなる場合がございます。この点につきましてもご確認頂いた上でお申し込みください。

### 4 授業科目の概要及び担当教員

現代国際経済論 (浅田 英克)	国際経済学の理論と応用、世界の主要国・地域の経済動向と政策課題を取り上げる。 貿易、国際金融及びそれらと経済開発の関係を中心とした国際経済学の理論や諸制度、さらに世界の主要国・地域の経済動向と政策課題についての理解を深めることを目標とする。
--------------------	---

注) 募集の対象は、対面授業とオンライン授業のどちらの授業形態であっても受講が可能で、E-mail(電子メール)の送受信を含みご自身でパソコン操作を行える方のみです。

## 1 講座名・定員など

### (1) 授業科目

科目名	担当	曜日	時限	授業時間	定員
近世の日本史 I	神崎 直美	2 月 中 旬 お 知 ら せ の 予 定		1 時限 9:15~11:00 2 時限 11:10~12:55 3 時限 13:45~15:30 4 時限 15:40~17:25 5 時限 17:35~19:20  * 時間帯は変更される 場合があります。	若 干 名
地方自治論	土屋 正臣				
経営分析 I	山田 優子				
エネルギー科学基礎	ティ ティ レイ				
生活と化学物質 I	八木 創				
ジェンダー論 I	大橋 稔				
接客英語 I (CR 英語)	三國 信夫				

ホームページ上で最新の情報を確認後、お申込み下さい。

- 春学期の授業は4月11日(金)から始まります。
- 受講人数により開講しない場合があります。
- 曜日が異なる科目は複数選択可ですが、曜日が同じ科目は複数選択できません。
- お申込み後の科目変更はできません。
- 社会情勢及び、授業担当者の都合によりオンライン授業(オンデマンド)に変更する可能性があります。そのため、対面授業とオンライン授業のどちらの授業形態の場合でも受講可能な方を募集します。
- オンライン授業(オンデマンド)の場合はご自宅等での受講となり、インターネット通信環境・インターネットに接続可能な端末等が必要です。大学の端末やシステム等のご利用いただけません。通信料などは受講者負担です。端末の接続や操作方法等のお問い合わせはお受けできません。
- 授業によっては、受講時にご自身の端末を持参して頂く場合があります。

- 受講に関する連絡や講義資料の配布はE-mail(電子メール)が基本です。資料を受信できるE-mailアドレスでお申込みください。
- 成績評価は行いません。学期末試験の受験はできません。但し授業で小テストの実施がある時は、成績評価に関わらず受けていただく場合があります。

## (2) 場 所

城西大学／城西短期大学（城西ベースカレッジ）

東武越生線川角駅から徒歩約10分。

※公共交通機関をご利用ください。

- 大学シャトルバスのご利用はできません。
- 大学駐車場のご利用はできません。大学周辺駐車場のご紹介は承れません。



## 2 受講料等

- (1) 受講料 1科目(半期)につき 10,000円
- (2) その他 教科書等の教材は自己負担によりご用意していただきます。

## 3 受講の申込み

- (1) 申込期限 **2025年2月28日(金)** [必着]

- (2) 申込先

〒350-0295 埼玉県坂戸市けやき台1-1

電話 049-271-7795

E-mail extension@josai.ac.jp

- (3) 申込方法

下記のForms(受講申込フォーム)よりお申込みください。送信後に受付の自動返信メールが届きます。

電話・その他のお申込みは受け付けておりません。

## 「大学開放授業講座 城西大学 2025 年度春学期受講申込フォーム」



<https://forms.office.com/r/mhCdXdWVcM>

※受講の可否および受講決定科目は、申込締切日以降に申込者全員へお知らせします。

(4) 選抜方法

定員を超える申し込みがあった場合には、抽選により受講者を決定します。

(5) 受講手続

受講可能な方へ受講手続書類を送付いたします。期日までに書類の返送と受講料納入等の受講手続きをお願いします。

お申し込みから受講開始までの期間が短くなりますのでご了承ください。

(6) その他

○一旦納入された受講料につきましては、お返しすることができません。

但し、受講人数により開講されない場合のみ受講料を返金いたします。

○次に該当する行為があった場合、申し込み手続き中もしくは講座受講中であっても、受講をお断りする場合があります。この場合も、受講料をお返しすることはできません。

a. 本学の授業実施方法、開講内容、申し込み手続き方法等に対してご賛同いただけない場合

b. 講義の進行に影響が出る行為があった場合

c. 本学学生や本学学生の保護者からのクレーム等を受けるような行為があった場合

以上の点につきましても、予めご了承くださいませよう  
お願いいたします。

## 4 各授業科目の概要及び担当教員

<p>近世の日本史 I (神崎直美) [春学期]</p>	<p>「大名夫人の寺社参詣」</p> <p>江戸時代の大名夫人の寺社参詣について、日向国延岡藩主内藤政順の奥方であった充姫、後の充真院(幕府の大老・井伊直弼の姉)を事例として説明します。</p> <p>充真院が訪れた寺社は鎌倉の光明寺、岡崎の大樹寺・西光寺、大坂の高津宮・新清水寺・安居天神・四天王寺・住吉大社、讃岐の金毘羅などです。これらの寺社参詣の実態を明らかにしながら、充真院の寺社参詣における姿勢やその人物像についても分析します。</p> <p>さらに、各寺社について現在の様子を撮影した写真データを映写して、受講生の皆さんに仮想寺社散策を味わっていただきます。</p> <p>教科書：神崎直美著『幕末大名夫人の寺社参詣一日向国延岡藩内藤充真院・統一』 岩田書院、2021年4月刊行</p>
<p>地方自治論 (土屋 正臣) [春学期]</p>	<p>この授業では、地方自治体に関わる諸問題の考察を通じて、地方自治とは何か、今後どうあるべきかを議論し、地方自治に関わる政策課題解決のための知識や技能の習得を目指します。講義内容に基づいて、適宜チャットによる議論も織り交ぜるため、パソコンやタブレットの持参を推奨します。</p> <p>教科書：特になし 持ち物：ノートパソコンもしくはタブレット端末</p>

<p>経営分析 I (山田 優子) [春学期]</p>	<p>会計は「ビジネスの言語」といわれ、企業にとって必要不可欠なものである。すなわち、企業は事業活動の結果を帳簿に記録し、財務諸表を作成しなければならない。</p> <p>財務諸表は、企業を取り巻く利害関係者がその企業の財政状態および経営成績を理解するうえで重要なだけでなく、企業内部での経営管理にも役立つ。</p> <p>本講義では、企業が外部に公表している財務諸表を利用して行う財務諸表分析と、企業内での業績管理（利益管理、資金管理等）のさまざまな手法を理解することを目標としている。</p> <p>本講義の目標は、財務諸表の構造・読み方・分析等の基礎知識（ビジネス会計検定3級合格程度）を習得することである。</p> <p>講義は毎回「(前半)知識のインプット・(後半)ワークショップ」のセットで行う。会計学に関心があり、ワークショップや課題にも主体的に取り組む意欲のある学生を歓迎する。</p> <p>教科書：『ビジネス会計検定試験 公式テキスト3級』中央経済社 持ち物：必ず電卓を持参すること その他：担当教員は、公認会計士として財務諸表監査やコンサルティングの実務経験があり、企業の実例を織り交ぜながら講義を展開する。</p>
<p>エネルギー科学基礎 (ティティレイ) [春学期]</p>	<p>現在、社会的にエネルギー問題が話題となるようになり、エネルギー源も多様化してきた。この講義では化学に必要なエネルギーの概念から始まり、後期の運動、位置、熱、電気、光エネルギーの相互変換に繋がる熱エネルギー法則（エントロピー）、電気エネルギー、運動エネルギーに関連する計算を中心に専門性を高め、幅広い見識を得ることを目的としている。</p> <p>本講義を通じて、ディプロマポリシーにおける「大学課程の化学に関する専門的な知識や技能を備え、地域社会や国際社会で活躍できる能力」を身に着けることを目標とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. エネルギー利用の歴史。火の利用から始まるエネルギー利用の歴史を理解する。</li> <li>2. 熱機関（外燃機関、内燃機関）、蒸気機関を理解する。</li> <li>3. 化学熱力学1。熱力学第一法則（エンタルピー）を理解する。</li> <li>4. 化学熱力学2。熱力学第二法則（エントロピー）反応熱と熱効率を理解する。</li> <li>5. 発電の原理、蒸気を用いる発電を理解する</li> <li>6. 運動エネルギーを電気エネルギーに変える。直流と交流を理解する。</li> <li>7. 中間試験。</li> <li>8. 石油の起源。生物成因論、無機成因論、石油分解菌合成説を理解する。</li> <li>9. 石油の成分、組成と分離を理解する。石油の埋蔵量、オイルサンドの分布と埋蔵量を理解する。</li> </ol>

	<p>10. 石炭の起源・埋蔵量・種類を理解する。  11. 石炭の利用。石油だけに偏らない効率的利用を理解する。  12. 天然ガス（天然ガスとメタンハイドレート）について理解する。  13. まとめ。</p> <p>教科書：毎回試料を配布し、特に使用しない予定。  持ち物：筆記用具  その他：参考書：①エネルギーの科学 第2版、（人類の未来に向けて）安井伸郎（著）</p>
<p>生活と化学物質 I  （八木 創）  [春学期]</p>	<p>化学そのものを中心に据えながらその実用性や応用面などを通し化学と日常生活の結びつきについて講義を行います。授業は化学科教員全員が得意分野を中心として趣向をこらしたテーマを設定したオムニバス形式で進めます。以下のようなテーマを扱う予定です。</p> <p>誘電体  身の周りの表面科学  化石の話  魚の体色・模様はどのように決まる？  生物の変態  生体分子とサプリメント（1）  生体分子とサプリメント（2）  混ぜるの化学  食品添加物  身の回りの金属錯体とその利用  分子の世界を知る・見る</p> <p>教科書：使用しません。  持ち物：筆記用具</p>

<p>ジェンダー論 I (大橋 稔) [春学期]</p>	<p>ジェンダー研究の視点から社会を見直すことを中心に講義を行います。</p> <p>ジェンダーとは、社会的文化的性差を意味しますが、近年ではSDGsや、多様性の議論の中において欠かすことのできない概念になっています。ジェンダーの視点から改めて社会の構造を見つめ直すことで、一人ひとりが豊かに生きることができる社会について考えたいと思います。また平等や正義の在り方についても考えます。</p> <p>本講義では、自分の問題としてジェンダーの課題を理解することができるよう、ディスカッションなども取り入れます。また補助教材として映像作品なども紹介する予定です。</p> <p>教科書：指定なし。必要に応じて資料を配布します。 持ち物：筆記用具。 その他：なし</p>
<p>接客英語 I (CR 英語) (三國 信夫) [春学期]</p>	<p>(1) 授業の概要 語学・基礎</p> <p>(2) 授業の目的 訪日外国人観光客が急増する昨今、接客業においても外国人観光客への対応が迫られています。この授業では、実際の接客場面でどのような英語表現を使用したら良いのか、具体的なシーンを想定しながら重要な英語表現を学んでいきます。</p> <p>(3) 学習成果 英語を通してコミュニケーション力が身につきます。</p> <p>(4) 授業の方法 講義 (30%) と演習 (70%) 特にディスカッション等には多くの時間を割く</p> <p>教科書：授業開始時に指定する</p>

せいぶふんりだいがく  
 西武文理大学

## 1 講座名・定員など

## (1) 授業科目

科目名	実施時期	曜日	時限	授業時間	定員
コンシェルジュ論	前期	木	1	9:30～11:00	若干名
中小企業論	前期	木	1	9:30～11:00	若干名

※ 授業科目、開講曜日・時限は変更になる場合がありますので、ご了承ください。

※ 各科目とも授業は15回の予定です。

※ 前期授業は、4月8日（火）から開始する予定です。（※変更の可能性あり）

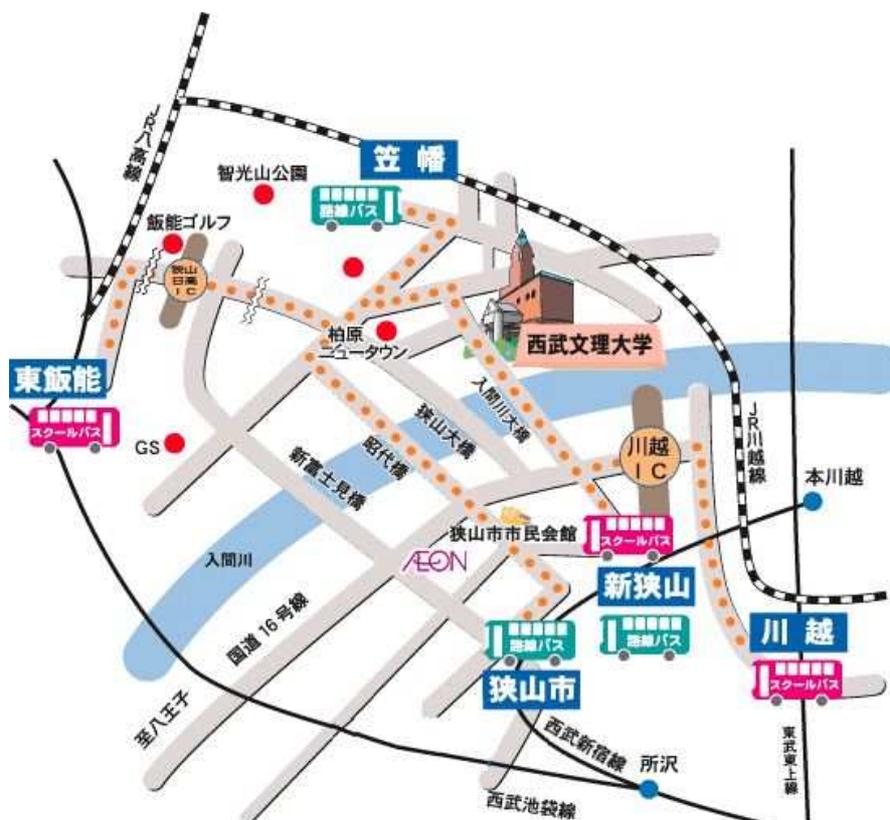
## (2) 場所

西武文理大学キャンパス

※ JR埼京線川越駅・西武新宿線新狭山駅・JR八高線東飯能駅からスクールバスを運行しています。

※ スクールバスをご利用の場合は、事前に学生サービス課までご連絡ください。

※ 車での通学も可能です。



## 2 受講料等

- (1) 受講料 1科目(半期)につき10,000円(初講日に徴収)。  
 (2) その他 教科書等の教材は自己負担によりご用意いただきます。

## 3 受講の申込み

- (1) 申込期限 令和7年3月3日(月)(消印有効)

- (2) 申込先

〒350-1336 埼玉県狭山市柏原新田311-1 西武文理大学 学生サービス課(リカレント)  
 電話:04-2954-7575 FAX:04-2954-7511 E-mail:kyoumu@bunri-c.ac.jp

- (3) 申込方法

はがき、FAX又はE-mailにて、以下の事項をもれなく記入の上、いずれかの方法にてお申し込みください。(記入もれがある場合には、申し込みを受け付けられないことがあります。)

- ①郵便番号、住所
- ②氏名(ふりがな)
- ③年齢(令和7年4月1日現在)、性別
- ④電話番号
- ⑤受講希望科目(希望順に記入、何科目でも可)

- (4) 選抜方法

- ・定員を超える申し込みがあった場合には、抽選により受講者を決定します。
- ・受講者の決定につきましては、3月下旬にご連絡いたします。

- (5) その他

- ・申し込み後に、都合により受講できなくなった場合は早めにご連絡ください。受講ができなくなった場合、受講料等はいただきません。ただし、一旦納入された受講料につきましては、お返しすることはできませんので、あらかじめご了承ください。
- ・諸事情により、一部オンライン形式など対面以外の方法による講義に変更となる場合がございます。あらかじめご了承ください。

## 4 各授業科目の概要及び担当教員

※ 現時点での予定につき、担当教員や一部講義内容が変更になることがあります。

コンシェルジュ論 (富樫 文子)	<b>授業の概要</b> 「接客サービスの最高のプロフェッショナル」と呼ばれるコンシェルジュの歴史・実態を学び、ホテルの枠組みを超えて多種多様な企業・業に配置されている現代日本のホスピタリティ産業の分析をします。
---------------------	---

	<p><b>科目の位置づけ</b>          本学の必須科目である「対人関係基礎・応用演習」を基に、ホスピタリティ産業全般にわたる顧客満足を目的としたコミュニケーションについて考え、その最たるコンシェルジュという職種について考察します。元来ホテル特有のサービスであったコンシェルジュが、今や航空、客船、デパート、電鉄、銀行、不動産、保険などの企業産業に進出している背景を学びます。それは取りも直さず、現代日本の産業に求められているサービスとは何かを考えることに他ならないのです。</p> <p><b>到達目標</b>          「コンシェルジュ」の歴史・背景及び、そのプロフェッショナルリズムを理解する。ホスピタリティ産業全般における顧客満足を目的としたコミュニケーション力の重要性と方法を理解する。</p> <p><b>授業の方法・講義手法の概要</b>          講義を中心とし、演習（個人ワーク・発表）を行います。また、ゲスト講師（ホテルコンシェルジュ）を招聘（予定）し、コンシェルジュ業務の実態とそのプロフェッショナルリズムを学びます。</p>
<p>中小企業論          (藤野 洋)</p>	<p><b>授業の概要</b>          日本では中小企業が企業数の99%超、従業者数の75%超を占めており、「活力ある多数」として経済の土台を支える重要な役割を担っています。しかし、1990年代半ば以降、開業率が廃業率を下回る状態が続いていることに象徴されるように、中小企業は様々な課題への対応を迫られているため、その活力を十分に発揮しにくい状態にあります。本講義では、第1クールで中小企業の特徴を大企業との比較などによって総論的に論じ、第2クールで中小企業が直面している様々な課題を概観し、さらに、第3クールで諸課題に対処するための政策や制度についても解説します。</p> <p><b>科目の位置づけ</b>          この科目は、本学部のカリキュラム・ポリシー（3）、すなわち、グローバル経済コースの実践的で柔軟な専門を修得する科目として位置づけられます。経済学、経営学、会社法学の基礎的な理論に企業・支援機関の多くの事例の解説を交えることによって、幅広い視点から「中小企業」に対する理解を深めることを目的とします。皆さんが社会人（会社員、公務員、経営者、士業等）になった時に中小企業と関係・取引を全く持たないことは考えにくいので、円滑な仕事・取引のために知っておいてほしい中小企業の特徴を解説します。</p> <p>具体的には、①(地域) 経済の土台となっている多数の多様なプレーヤーとしてのダイナミズム、②中小企業経営者の「独特の経営感覚」と事業を通じた「社会への貢献」に対する信念、③「優れた経営者」の会社では、従業員も若いうちから自分の仕事に誇りを持っていきいきと働いていること、④地域経済の担い手である中小企業の課題とその解決のための支援策の重要性、等について、理解を深めていただきたいと思えます。</p> <p><b>到達目標</b>          (1) 日本における中小企業の歴史的発展と現在の中小企業の位置づけを説明できる。中小企業の全体像を説明できる。          (2) 中小企業を支援する政策の概要と企業活動における資金の働きを理解することにより、実社会における中小企業のキャッシュフローを捉え、説明できる。          (3) 中小企業で働く人のキャリアパスとモチベーションを理解することにより、自己の将来の目的やキャリアアッププランの具体化に寄与できる。</p> <p><b>授業の方法・講義手法の概要</b>          講義形式で行います。具体的には、多くの事例を基にして、中小企業が直面している様々な環境変化や課題とその解決のための支援策等について解説します。</p>



## 2 受講料等

(1) 受講料 1科目(半期)につき10,000円

(2) その他 教科書等の教材は自己負担によりご用意いただきます。

(教科書については第1回目の授業で担当教員から説明があります。)

※受講料は、説明会時にクレジットカード・ICカードによる電子決済でのお支払いとなります。

※一旦納入された受講料につきましては、お返すことができませんので、あらかじめご了承ください。

## 3 受講の申込み

(1) 申込期限 令和7年3月7日(金)(消印有効)

(2) 申込先

〒352-8510 埼玉県新座市菅沢2-1-28

十文字学園女子大学 地域連携推進課

電話:048-477-0958(直通)

(3) 申込方法

**官製はがき**に以下の事項を**もれなく**記入の上、郵送でお申込みください。

(1) 「大学の開放授業講座 受講申込」と明記

(2) 氏名・ふりがな

(3) 年齢(令和7年4月1日現在)

(4) 性別

(5) 電話番号

(6) 郵便番号・住所

(7) 受講希望科目・担当教員名(何科目でも可)

※申込後に、都合により受講できなくなった場合はお早めにご連絡ください。

(4) 選抜方法

定員を超える場合または多数の申込みがあった場合には、抽選により受講者を決定します。(受講の可否、受講決定科目は3月下旬を目途に申込者全員にお知らせします)

(5) その他

本学が示す感染防止対策にご協力をお願いします。

#### 4 各授業科目の概要及び担当教員

<p>芸術を読みとる (森 暁子講師)</p>	<p>変体仮名（くずし字）の資料を、端正な手書きの文字から子供向けに出版された絵本まで広く取り上げ、読み解いていきます。今まで変体仮名に触れたことのない人でも、文脈や挿絵などを手掛かりにして、なんとなく当たりをつけて読むことができるようになることを目指します。テキストは『変体仮名の手引〔改訂増補〕』（中野幸一編、武蔵野書院）を使います。</p>
<p>日本文学論B (小林 実教授)</p>	<p>作家・三島由紀夫のナビゲーションで、“文学作品”の読み方を学びましょう。西洋文法を手本にして、近代日本語の文体は整えられましたが、そのためか、文壇の名作は必ずしも読みやすいものにはなりません。そもそも韻文と散文の区別もあいまいなままですし。そうした近代日本文学の特性を“文章”の側面から考察してまいります。【テキスト】三島由紀夫『文章読本』中公文庫</p>
<p>日本語学入門 (星野 祐子教授)</p>	<p>私たちにとって日本語は無意識的な存在。その無意識的な日本語に対し意識的になることがこの講義の目的です。講義では、音声・語彙・文法・方言などの観点から、日本語に関わる興味深い話題を取り上げます。日本語の奥深さを実感できるはず。テキストは『やさしい日本語のしくみ』（庵功雄他著、くろしお出版）を使います。</p>
<p>日本語学A (星野 祐子教授)</p>	<p>日本語の成立について通時的に観察し、ことばの変化とその要因を探ります。また、現代語から切り離された過去の言語活動として古いことばを扱うのではなく、今の日本語への影響やその残存を意識しながら、日本語の成立を捉えていきます。テキストは『日本語の歴史』（山口仲美著 岩波新書 2006年）を使用します。</p>
<p>地域コミュニティ論 (大友 由紀子教授)</p>	<p>農業や中心商店街の衰退により、町内会・自治会に代表される地域活動が停滞するなか、防災・防犯、福祉、教育、環境等における「地域」への関心が高まっています。農村社会学、都市社会学、地域社会学で議論されてきたコミュニティ論の基本を学び、そこでの概念を用いて、都市と農山漁村における固有の問題、持続可能な地域コミュニティづくりにむけた課題を検討します。</p>
<p>健康食育論 (徳野 裕子准教授)</p>	<p>最近では想定外の自然環境も加わり、感染症と非感染症が存在する社会で健康で平凡な生活の大切さを痛感します。食育基本法が2005年に施行され、2024年はウェルビーイング元年といわれました。日々満たされた健幸を維持・増進するための食育とはどのようなことなのか、女性の健幸に関連する要因と、今置かれている環境を踏まえながら考えていきたいと思えます。</p>

<p>恋愛と結婚の科学 (山下 倫実教授)</p>	<p>親密な異性関係（恋愛関係・夫婦関係）は人にとって極めて関心の高い関係です。本科目は、社会心理学の分野で明らかになっている恋愛や夫婦関係に関する科学的なデータを示し、恋の始まりから終わりまでを解説します。また、近年の結婚に対する価値観や生活環境の変化によって影響を受ける夫婦関係についても取り上げます。</p>
<p>食育論 (鴨下 澄子講師)</p>	<p>パソコンを使い食育に関する様々なテーマについて自分で調べ、パワーポイントで資料を作成し、提出します。食べる物を選ぶ力、衣食住の伝承、食糧問題と環境問題を柱に、「善き食べ手」となるにはどうすればよいか考えていくことを主軸とし、基礎から発展までの幅広い知識を学びます。 学外の施設を訪問（2回予定）し、テーマに沿った課題をパソコンで作成・提出します（授業時間内）。教科書は使用しません。 ※パソコンの基本操作、パワーポイントでの資料作成、学外の施設訪問への参加ができる方が受講可能です（保険加入料、入館料、交通費は別途自己負担）。</p>
<p>日本と異文化 (小林 実教授)</p>	<p>日本列島を、東アジア地域の一部としてみることで、どんな「日本」の姿が見えてくるのか。漢字、仏教、学問、お茶、空海さまに平清盛、なぜ足利義満は僧形なのか、倭寇とキリスト教伝来の関係などなど、対外交渉を軸にしたテーマで、古代から江戸時代までの日本の歴史をふり返ってまいります。テキスト不要。</p>
<p>グループダイナミクス (風間 文明教授)</p>	<p>グループダイナミクスとは、集団および集団成員の行動に関する法則性を明らかにしようとする社会科学の1分野です。本講座では、集団内での人間行動に関する心理学的知見を平易に解説します。具体的には、集団の形成、集団規範への同調と逸脱、集団合議による意志決定、リーダーシップなどの問題を取り上げる予定です。</p>
<p>児童学概論 (近藤 有紀子講師 他)</p>	<p>少子化が進む中、身近に子どもの姿を感じられる機会も減少しつつあります。その一方で、「子ども」の育ち、幼児教育は様々な国で重要視されています。乳幼児期における様々な経験が、生涯にわたる人格形成の基礎を培う重要なものとしてつながることを、幼児教育学科専任教員が各自の専門領域から取り上げ、捉えていきます。</p>

## 1 講座名・定員など

## (1) 授業科目

科目名		担当教員	曜日	時限	定員
学部 授 業	戦争と平和の歴史	中島 浩貴	月	2	若 干 名
	歴史学	中島 浩貴	月	3	
	化学A	小曾根 崇	水	1	
	多文化コミュニケーションA	比嘉 徹徳	水	2	
	世界経済の現在	諸岡 千裕	金	2	
	欧米文化研究	中島 浩貴	金	2	
	歴史学	中島 浩貴	金	3	
	教養ゼミナールA	中島 浩貴	金	4	

【授業時間】 ※ 1コマ 100分授業。

1時限： 9：20～11：00      2時限： 11：10～12：50

3時限： 13：40～15：20      4時限： 15：30～17：10

【授業開始日】

4月11日（金）より開始します。

【講義回数】

各科目とも授業は14回を予定しています。

【学期末試験】

受験の必要はありません。

【注意事項】

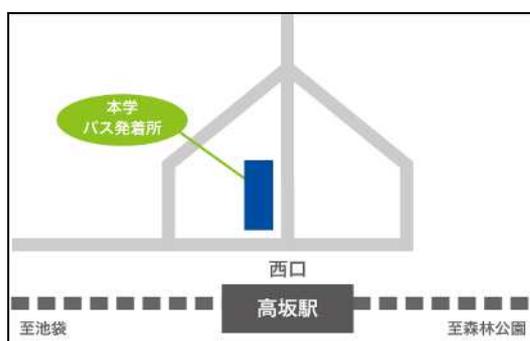
- ・学内のITサービス（ネットワーク、UNIPA、WebClass、Box、Zoom、Webメール、PC貸与など）および図書館の利用はできません。
- ・各科目の担当教員、授業時間割および授業科目の内容は変更になる場合があります。
- ・休講が発生した場合、通常とは異なる曜日・時限で補講が行われる場合があります。
- ・埼玉鳩山キャンパスに登校し、対面で受講していただきます。新型コロナウイルスの感染拡大などの影響で授業がオンライン形式となった場合、受講を中止させていただきます。

## (2) 場所

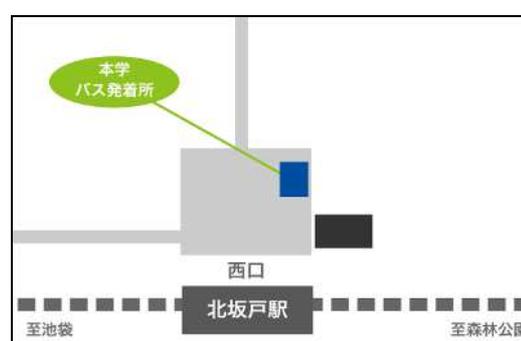
東京電機大学埼玉鳩山キャンパス（住所：埼玉県比企郡鳩山町石坂）

- ・スクールバス（無料）は東武東上線「高坂駅」および「北坂戸駅」からご利用いただけます。（高坂駅発：約 8 分、北坂戸駅発：約 10 分）
- ・自動車での通学も可能です。希望される場合は、教務担当窓口までお申し出ください。

なお、本学駐車場内での事故等については、大学は一切責任を負いません。



高坂駅スクールバス発着所



北坂戸駅スクールバス発着所

## 2 受講料等

- (1) 受講料 1科目につき 10,000円
- (2) その他 教科書等の教材は、自己負担でご用意いただきます。  
(教材については、初回授業時に教員から指示があります)

## 3 受講の申込み

- (1) 申込期限 令和7年3月14日(金)
- (2) 申込先
  - ①e-mail の場合：[ri-kyomu@jim.dendai.ac.jp](mailto:ri-kyomu@jim.dendai.ac.jp)
  - ②はがきの場合：  
〒350-0394 埼玉県比企郡鳩山町石坂  
東京電機大学 理工学部事務部 教務担当

### (3) 申込方法

「e-mail」または「はがき」で、以下の事項をもれなく記入の上、お申し込みください。

- ①郵便番号・住所
- ②氏名・ふりがな
- ③年齢（令和7年4月1日現在）
- ④電話番号（日中連絡が可能な電話番号）
- ⑤緊急連絡先（受講者以外）
- ⑥メールアドレス（無い場合は「なし」と記入）
- ⑦受講希望科目（複数選択可）
- ⑧通学方法（スクールバス、自動車（送迎含む）、その他）

### (4) 選抜方法

定員を超える申し込みがあった場合は、抽選により受講者を決定します。  
（受講の可否は申込者全員にご連絡します。）

### (5) その他

お申し込み前に以下の項目をご確認ください。

- ・第1回目の授業から出席が必要です。
- ・学内のITサービス（ネットワーク、UNIPA、WebClass、Box、Zoom、Webメールなど）および図書館（閲覧・貸出）は利用できません。
- ・パソコンの貸し出しは行いません。

## 4 各授業科目の概要および担当教員

<p>戦争と平和の歴史 (中島 浩貴)</p>	<p>戦争と平和を軸に近現代史を検討します。歴史学は様々な観点で発展を遂げていますが、戦争と平和の問題についても全体的に見ていくことができるようになってきました。フランス革命から二つの世界大戦、現代までの歴史について、講義ではできるだけわかりやすく話しつつも、最新の議論をも紹介していきたいと思えます。理解の一助として、映画やドキュメンタリーも参照します。</p>
<p>歴史学 (中島 浩貴)</p>	<p>(月曜3限、金曜3限)「歴史学」では、「歴史とはなにか」を扱います。人間はどうして過去のことを研究するのでしょうか。この問題意識をもって「歴史と学問」を考えていきます。古代から現代の歴史についての見方の移り変わり、現在、活発化している歴史学の発展を踏まえた講義を行います。</p>
<p>化学A (小曾根 崇)</p>	<p>現在までに様々な機能性分子が生み出されて我々の日常生活に使われている。分子の性質とそのメカニズムを知るためには、まず構成される原子の性質を正確に理解することが重要である。 本講義では大学化学の基本となる原子の基本構造を学ぶ。この理論を基にして、原子の諸性質、化学結合の理論的解釈を理解していく。</p>
<p>多文化コミュニケーションA (比嘉 徹徳)</p>	<p>この授業では初めてドイツ語を学ぶ受講者を対象に、ドイツ語の初級文法をしっかりと学びながら、実践的なドイツ語会話の練習を行い、さらにドイツ語圏文化についてさまざまな話題を取り上げます。ドイツ語を入りに、ヨーロッパ全般への関心を高め、多文化コミュニケーションへの足がかりとします。必要に応じて、時事的な話題の紹介や映像の鑑賞を行い、異なる文化への関心を広げることが目的としています。</p>
<p>世界経済の現在 (諸岡 千裕)</p>	<p>この授業では、経済学を初めて学ぶかたに、経済学的なものを見方をわかりやすく説明します。基礎的な経済学には、ミクロ経済学とマクロ経済学がありますが、この授業では主にマクロ経済学を学びます。マクロ経済学の基礎となる、一国の経済水準がどのように決まるのかを学び、あわせて各国・地域の経済状況を学びます。到達目標は、経済学で用いられる基本的な用語を理解すること、マクロ経済学の基本的な概念を身につけること、海外の経済状況について考えられるようになることです。</p>
<p>欧米文化研究 (中島 浩貴)</p>	<p>この講義では、ヨーロッパとアメリカの文化変容を歴史的に見ていきます。大学とエリート文化、大衆化、世界大戦の時代、現代の消費社会などについて見ていきます。そして、日本が、欧米の文化からどのように影響を受けていったのかについても触れていく予定です。なお、欧米事情を理解する題材として映画も見ていただく予定です。</p>
<p>教養ゼミナールA (中島 浩貴)</p>	<p>このゼミでは地域の活性化をテーマとします。学生と地域や社会についての調査を行い、アイデアを出し合いながら、実践的活動を行っていきます。実際の企画については、一般学生のニーズを優先しますが、坂戸(北坂戸にぎわいサロン)、鳩山、東松山でのさまざまな企画実行やイベントを実施する予定です。</p>

## 1 講座名・定員など

### (1) 授業科目

科目名	実施時期	曜日	時限	授業時間	定員
機械工学概論	前期	木	4	1 時限 9:10~10:50	若干名
工業法規		木	4		
生態環境科学		木	1	2 時限 11:00~12:40	
生活の科学		木	4	3 時限 13:25~15:05	
人工知能入門		火	5	4 時限 15:15~16:55	
社会学概論		月	1	5 時限 17:05~18:45	
産業心理学		木	1		
臨床心理学		水	3		

※授業の曜日・時限等は変更となる場合があります。あらかじめご了承ください。

※各科目とも授業は14回の予定です。

※授業は4月11日(金)から開始します。一部変則な取扱いがありますので注意してください。

### (2) 場所

埼玉工業大学 埼玉県深谷市普濟寺1690

JR高崎線岡部駅下車 無料スクールバス乗車又は徒歩(15分)

各地区からの無料スクールバス案内 <http://www.sit.ac.jp/access/>

自家用車による通学可(駐車場無料)



## 2 受講料等

- (1) 受講料 1科目(半期)につき10,000円。  
※受講科目決定後に、振込にて納入いただきます。  
※一旦納入された受講料は、お返しできませんのでご注意ください。
- (2) その他 教科書等の教材は自己負担でご用意いただきます。

## 3 受講の申込み

- (1) 申込期限 令和7年3月7日(金)必着
- (2) 申込先  
〒369-0293  
埼玉県深谷市普濟寺1690  
埼玉工業大学 教務課 リカレント係  
TEL: 048-585-6813 FAX: 048-585-5939  
E-mail: kyomu@sit.ac.jp
- (3) 申込方法  
はがき、FAX、E-mailのいずれかにより、以下の事項をもれなく  
記入の上、お申し込みください。  
①郵便番号・住所  
②氏名(フリガナ)  
③年齢(令和7年4月1日現在)・性別  
④電話番号  
⑤受講希望科目(何科目でも可)
- (4) 選抜方法  
定員を超える申込みがあった場合は、先着順により受講者を決定します。  
受講の可否、受講決定科目は申込者全員にお知らせします。
- (5) その他  
授業は原則として対面で実施します。

#### 4 各授業科目の概要及び担当教員

No	科目名 (担当教員)	概要
1	機械工学概論 (長谷 亜蘭 准教授)	“機械”と一言でいっても、機械の中にはとても多くの技術が詰まっている。その技術分野も力学、材料、機械要素、熱・流体、設計製図、ものづくり、計測・制御、電気・電子などと幅広い。これから機械工学科の専門科目を学習していくうえで、この機械工学概論で学習する各分野の幅広い基礎知識はとても有用である。本科目では、機械工学科で専門分野を学ぶ前段階として、各分野の基礎のきそについてわかりやすく解説する。
2	工業法規 (河田 直樹 教授)	知的財産権を中心とする工業分野の様々な法規の解説と、知的財産権のうち、特許、意匠、商標の出願方法の演習からなる講義を展開する。 例えば、昨今の IoT や AI の普及による様々な技術革新の流れの中で特許を取得することは、多くのビジネスチャンスを生み出すきっかけとなっている。工業法規を学ぶことで、特許などの権利獲得までの流れとコツをつかみ、変革していく社会において将来の糧となれば幸いである。
3	生態環境科学 (秋田 祐介 准教授 秦田 勇二 教授 本郷 照久 教授)	我々人間を含めたあらゆる生物を取りまく自然環境を「生態」といいます。本講義では、陸上や海洋といった生態環境に関する問題や利用方法を各論的に紹介し、生態環境の改善にむけた科学的アプローチについて考察します。第一部では、主に陸上植物の生態やその利用例について紹介します。第二部では、海洋の生態やその利用法について解説します。第三部では、バイオマスの利用法など、環境の負担軽減にむけた研究について解説します。
4	生活の科学 (松浦 宏昭 教授 田中 睦生 教授 青木 寛 非常勤講師)	我々の生活は、さまざまな科学技術の進歩により支えられてきた。しかし、近年では、地球環境・生活環境・社会情勢の変化により、さまざまな問題点も浮かび上がってきた。本講義では、快適な生活をおくるための健康科学や材料化学、エネルギー問題と次世代新型エネルギーに焦点をあて、身近な生活環境を科学的視点から捉えられる素養を身に着けることを目的とする。

5	<p>人工知能入門 (井上 聡 教授)</p>	<p>いまや私達の生活に欠かせない存在となっている、人工知能 (AI) について、その分野の起こりや歴史、これまでの技術動向と変遷、身の回りでの活用事例などについて解説をします。また高度な AI 関連分野への入口として、数式を交えての技術概説も含まれます。</p>
6	<p>社会学概論 (平田 文子 准教授)</p>	<p>社会学という学問がなぜ近代に必要なになったかという社会学成立の過程を含めて社会学の概論を講義する。唯物論・唯心論の物心二元論の思想から、16 世紀の実証科学の発展、進化論、マルクスの唯物史観、マックス・ヴェーバー、エミール・デュルケーム、そして 20 世紀後半のパーソンズまで、基本的な社会学理論を講義し、実証科学としての方法論とデータや調査の限界についても講義する。</p>
7	<p>産業心理学 (産業・組織心理学) (村中 昌紀 准教授)</p>	<p>産業心理学 (産業・組織心理学) は、働く人の心や行動のメカニズムについて研究する、応用心理学の一分野である。授業では、産業・組織心理学全般について講義する。その内容には、職場における問題 (メンタルヘルスやキャリア形成に関することなど) に対して必要な心理に関する支援と、組織における人の行動が含まれる。</p>
8	<p>臨床心理学 (臨床心理学概論) (伊藤 淳子 教授)</p>	<p>臨床心理学 (臨床心理学概論) では、人のこころを臨床心理学的に理解するための理論について、また人のこころの援助のための理論と技法について幅広く学ぶ。臨床心理学の基本的な知識や考え方を身に付け、専門的な学習を進めるためのがかりとなる材料を得られることを目的とする。</p>



### 3 受講の申込み

(1) 申込期限 令和7年2月14日(金)

(2) 申込先

「生活科学」

担当：東都大学管理栄養学部教務課

Mail：e-kyomu@tohto.ac.jp

「フランス語」、「人間の生き方（渋沢栄一・論語）」

担当：東都大学ヒューマンケア学部教務課

Mail：kyoumu@tohto.ac.jp

(3) 申込方法

以下の事項を入力の上、電子メールでお申込みください。

※電子メールのみ受け付けております。その他のお申込み方法では受け付け不可となりますのでご注意ください。

件名 「大学の開放授業講座受講申込」

本文

① 郵便番号・住所

② 氏名ふりがな

③ 年齢（令和7年4月1日現在）、性別

④ 電話番号

⑤ メールアドレス

⑥ 受講希望科目（何科目でも可）

⑦ 受講希望理由（400字程度）

(4) 選抜方法

申込受付後、面接により受講の可否を決定します。

定員を超える申し込みがあった場合には、抽選を行います。

※受講の可否および受講決定科目は申込者全員にお知らせします。

(5) その他

・一旦納入された受講料につきましては、お返しすることができませんので、あらかじめご了承ください。

・新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況によっては、オンライン上で受講頂くかたちとなる可能性もございます。

## 4 授業科目の概要

生活科学	家庭や地域・学校・職場など様々なコミュニティに属する上でのそれぞれにおける慣習や規範への沿い方、生活していくうえで欠かせない住居や空間などの物理的環境、身近な自然環境との共存など、生活者であることの基本的視点について学ぶ。
フランス語	言語手段としてのフランス語は依然重要で、世界で2億人以上のフランス語公用語圏が形成されている。フランス語圏では英語圏と異なる文化が発展しており、フランス語の理解を通じてその地域の文化特性についても学ぶ。
人間の生き方（渋沢栄一・論語）	「論語」に基づく道徳精神を重んじ、企業や学校を作り民間外交にも尽くした、本学にゆかりのある「渋沢栄一」の思想から、人間の生き方とは何かを学ぶ。

## 1 講座名・定員など

### (1) 授業科目

NO	科目名	担当者名	実施時期	曜日	時限	授業時間	定員
1	世界のこどもたち	オムニバス	前期	未定		1 限 9:10~10:40 2 限 10:50~12:20 3 限 13:10~14:40 4 限 14:50~16:20 5 限 16:30~18:00	若干名
2	社会福祉入門	高橋明美					若干名
3	貧困に対する支援	中島修					若干名
4	知覚・認知心理学Ⅱ	小林剛史					若干名
5	比較文化論	貫井万里					若干名
6	ヒューマンバイオロジー (理学)	矢部 航 他					若干名
7	ヒューマンバイオロジー (作業)	野部裕美他					若干名
8	高齢期作業療法評価学	大橋幸子					若干名

\*授業の曜日・時限などは未定です。確定次第、県HP（共通事項3募集案内）でお知らせします。

\*各科目とも授業は15回の予定です。

\*授業は4月11日（金）から開始します。

\*学期末試験を受験していただく必要はありません。

\*成績評価はいたしません。

\*NO.1~5は「人間学部」の科目、NO.6~8は「保健医療技術学部」の科目です。

### (2) 場所

文京学院大学ふじみ野キャンパス  
〒356-8533 埼玉県ふじみ野市亀久保 1196  
電話 (049) -266-0253 (人間教務グループ)

#### アクセス方法

- 東武東上線ふじみ野駅西口よりスクールバスで7分（無料）
- 東武バス「ふじみ野駅」発 大井循環（文京学院大学経由）「文京学院大学前」下車、9分（有料）



## 2 受講料等

- (1) 受講料 1科目（半期）につき 10,000 円  
（初講日に現金にて徴収）。
- (2) その他 教科書等の教材は自己負担によりご用意いただきます。

## 3 受講の申込み

- (1) 申込期限 令和7年2月28日（金）（消印有効）

- (2) 申込先

〒356-8533 埼玉県ふじみ野市亀久保 1196  
 文京学院大学 教務グループ  
 電 話 049-266-0253  
 e-mail: f-hum-kyoumu@m.bgu.ac.jp

- (3) 申込方法

e-mailにて以下の事項をもれなく記入の上、お申し込みください。e-mailの送受信をする環境にない場合には、ハガキにて送付ください。

- (1) 郵便番号、住所
- (2) 氏名ふりがな
- (3) 年齢（令和7年4月1日現在）、性別
- (4) 電話番号
- (5) 受講希望科目

- (4) 選抜方法

定員を超える申込みがあった場合は、抽選により受講者を決定します。

- (5) その他

申し込み後に、**都合により受講できなくなった場合は早めにご連絡ください。**受講ができなくなった場合、受講料等はいただきません。ただし、一旦納入された受講料につきましては返金することはできませんので、あらかじめご了承ください。

## 4 各授業科目の概要及び担当教員

<p>世界のこどもたち （オムニバス）</p>	<p>こどもの視点を通して世界で起きている多様な出来事や現実についての知識や理解を深めることを目的としている。また、こどもを一人の人権をもった個人ととらえて、様々な専門領域の教員が毎回「世界のこども」というレンズを通して講義をすることで、多角的にこどもを理解する力を身につけるとともに、こどもの周りにいる大人の役割の重要さと支援の必要性について考える力を養う。</p>
<p>社会福祉入門 （高橋明美）</p>	<p>人は誰でも幸せに生きたいと願っているが、人が社会生活を送る中で、その幸せを阻害する何らかの「生きづらさ」が発生することがある。本授業では「生きづらさ」の具体的な内容とそれに対処するための社会福祉制度や社会専門職の全体像をつかむことを目的とする。</p>

<p>貧困に対する支援 (中島修)</p>	<p>貧困や公的扶助の概念を学習し、貧困状態にある人の生活実態とこれを取り巻く社会環境について事例を通して理解する。また、貧困の歴史と貧困観の変遷を学ぶことで貧困問題を社会的に支援することとなった背景を理解し、その貧困に係る法制度と支援の仕組みについて各種制度の学習を通して理解する。そして、事例を通して貧困による生活課題を踏まえ、具体的な支援のあり方を学習する。</p>
<p>知覚・認知心理学Ⅱ (小林剛史)</p>	<p>本講義では、新旧の興味深い研究の知見を紹介するばかりではなく、その背景にある研究の手法や、その研究から得られる、人間に対する深遠な洞察能力を養うことを目的とする。すなわち、ヒトの脳および認知の機能の知識を表面的に身につけるのではなく、その機能を理解したうえでヒトという種に真に重要な機能についての教養を身につけることを目指す。近年の情報化社会により、人は大量の刺激に常に曝されており、そのような刺激環境に起因すると考えられる精神障害や適応不全も散見される。これほど多くの情報が氾濫する時代において、ヒトの脳および認知の機能の発達はどの方向に進んでいくのか。本講では、脳科学と認知の重要な知見についてさまざまな視聴覚教材を用いて学習することで、不確実性の社会において人間が進むべき方向性に対するより深い洞察能力を醸成する。</p>
<p>比較文化論 (貫井万里)</p>	<p>「比較文化論」は方法論としては対比研究と文化交流研究を用い、文化の多様性、文化の受容性、文化の発展などを考察・分析し、人類にとって文化とはどのように発展し、どのように展開しているのか鳥瞰するのを目的としている。世界には多くの文化があり、それらの文化は相互に影響し、競合し、感化し合ってきた。グローバル化が顕著になった 21 世紀はますますその傾向を深めていくと思われる。この講義では、キリスト教に続き、第 2 位の信徒数を持つイスラームの宗教・社会・文化・歴史を軸に学ぶ。その中で、イスラームと他宗教（ユダヤ教、キリスト教、ゾロアスター教）の相違点や類似点、近代以降の西欧文明との遭遇・交流を通して、イスラーム社会がどのように変容してきたのかを考える。</p>
<p>ヒューマンバイオロジー (矢部航 他) ※「理学療法学科」にて開講</p>	<p>生物の基礎を学び、大学における生物系の科目を理解するための土台となる知識を身につける。生物界のシステムと生体機能のメカニズムを学ぶことにより、生物現象の本質を理解する。さらに、医学関連分野に応用できる基礎知識および考える力を身につける。</p>
<p>ヒューマンバイオロジー (野部裕美 他) ※「作業療法学科」にて開講</p>	<p>生命科学の基礎を学び、基礎専門科目である生理学を理解するための土台となる知識を身につける。細胞や組織、遺伝や発生、エネルギー代謝を学ぶことで、生物現象の本質を理解する。医学関連分野に応用できる知識および考える力を身につける。</p>
<p>高齢期作業療法評価学 (大橋幸子)</p>	<p><b>【授業目的】</b> 1. 高齢期障害の特徴と、高齢期作業療法に必要な検査・評価・情報収集について理解する。 2. 高齢者の知的機能および認知症の検査・評価について理解する。</p>

にっぽんこうぎょうだいがく  
日本工業大学

## 1 講座名・キャンパス

## (1) 講座名

科目名	実施時期	曜日	時限	授業時間	公開定員
人間工学	春学期 (令和7年4月～ 令和7年7月)	金	3	13:20～15:00	10名
電気情報工学の基礎		月	4	15:10～16:50	10名
資源循環工学		月	3	13:20～15:00	10名
機械技術史		水	2	10:50～12:30	10名
日本建築史		水	1	9:00～10:40	10名
福祉施設の計画		金	1	9:00～10:40	10名

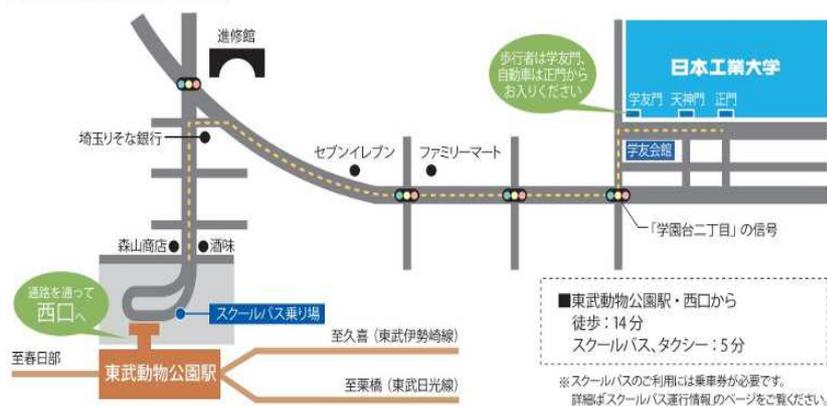
\*この実施予定は1月8日現在のものです。社会情勢や諸般の事情により、変更や中止になる場合もありますので、ご了承ください。

\*上記講座のお申し込みにあたっては、本学 [生涯学習センターホームページ](#)

(<https://www.nit.ac.jp/campus/center/life>) に掲載する「令和7年度春学期要項」を熟読のうえ、お申し込みください。

## (2) キャンパス

## ■東武動物公園駅からのご案内



## ■新白岡駅乗車場所



東武動物公園駅西口より、徒歩14分、スクールバス5分。

JR宇都宮線・新白岡駅東口より、スクールバス12分。 \*スクールバス料金：100円/片道

スクールバスの運行情報・ご利用につきましては

[スクールバス運行情報・乗り場案内 | 実工学教育の日本工業大学 \(nit.ac.jp\)](#)

(<https://www.nit.ac.jp/campus/access/bus-info>) をご確認ください。

## 2 受講料・テキスト

- (1) 受講料 : 1科目につき 10,000 円  
 (2) その他 : 教科書等の教材は自己負担によりご用意いただきます(書名、購入方法等は別途ご案内します)

## 3 受講の申込み

- (1) 申込期限 令和7年3月3日(月) (消印有効)

- (2) 申込先

〒345-8501 埼玉県南埼玉郡宮代町学園台 4-1  
 日本工業大学 生涯学習センター  
 電話 : 0480-34-4111 (代表)  
 E-mail : [shougai@nit.ac.jp](mailto:shougai@nit.ac.jp)

- (3) 申込方法

以下の事項をご記入のうえ、E-mail または官製はがきでお申込みください。  
 (電話での受付はしておりません)

- ① 住所                      ② 氏名(ふりがな)                      ③ 年齢  
 ④ 電話番号                      ⑤ 受講希望科目(複数科目の選択可)

- (4) 受講手続

受講のお申込みを確認後、本学生涯学習センターより通知書を送付いたします。  
 この通知書を熟読のうえ、所定の期日までに受講料の振込み等、受講手続を行ってください。

- (5) その他

本学が開講する開放授業講座を、今年度春学期(前期)から新たに受講される方におかれましては、1回講義に先立ち、受講いただくにあたっての諸説明を目的としたオリエンテーションを開催します。日時等の詳細は、受講手続をいただいた方へ個別に連絡いたします。

## 4 各科目の概要及び担当教員

科目名(担当)	授業科目の概要
人間工学 (細田 彰一 教授)	我々が作る道具にとって、人間は必要不可欠かつ仕様変更のできない「部品」である。そのため設計行為は、人間を中心としたシステム設計として考える必要がある。本科目は、人間工学の基礎である、人間の各種機能性能を中心に学ぶものである。前半は人間工学のベースとなる基本的な生理的、心理学知識について学ぶ。後半は主に寸法系の手法について学ぶ。
電気情報工学の基礎 (電気情報工学科教員)	本科目は、電気情報工学科で学習する専門科目について、幅広くオムニバス形式で学習する科目である。本科目では、「デシベル(dB)とは何か」、「電波とは?電波はどこまで届くのか?」、「社会インフラを支える電気技術」、「電力システムと再生可能エネルギー」、「統計、データの表現方法」などをテーマに、基礎的な内容や最新のトピックを各分野の専門教員が講義する。

<p>資源循環工学 (内田 祐一 教授)</p>	<p>工業材料やエネルギーの製造と循環利用に関する科学技術とその技術革新を理解する。さらに、素材・エネルギー原料としての各種資源の現状を地球規模および環境負荷の視点から概観し、資源循環の必要性や課題を実践的に理解する。 講義および演習形式で行う。講義で課した課題については講義時間内に解説する。</p>
<p>機械技術史 (林 正弘 准教授)</p>	<p>歴史とは「創造と変化」の集大成である。歴史を学ぶことで「専門科目の深い理解」と「創造性の増強」に寄与すると考えられる。また、先人の取り組みに学ぶこともでき、技術者ないしは社会人としての生き方を知ることができる。 本科目では、日本の工作機械の歴史および世界のそれとの関わりについて学ぶ。歴史的背景に立脚したエンジニアとして育つことを期待する。工業技術博物館を活用した授業も行う。</p>
<p>日本建築史 (野口 憲治 准教授)</p>	<p>歴史を学び、日本建築の意匠や技術について理解を深めることで、継承すべきものやあるべき環境について総合的な判断や考察ができるようになる。加えて、今後の建築に何が求められているかについて本質的な視点で考え、建築設計等に役立てることができるようになる。そうした素養を身につけるために、日本建築の歴史を、社会的背景、設計技術などを踏まえて体系的に理解する。</p>
<p>福祉施設の計画 (勝木 祐仁 教授)</p>	<p>高齢者の暮らしを支える施設を中心とした、各種福祉施設について、歴史的な成立背景と今日的な意義を理解した上で、利用者、家族、職員にとって適切な施設として実現するための建築計画上の知識・技術を身につける。</p>

## 1 講座名・定員など

### (1) 授業科目

科目名	担当教員	開催曜日	開講時限	定員
地域社会・文化論(第2クォーター)	石田 仁 内山 大介	火曜日 木曜日	1 限 4 限	若干名

※曜日・時限が変更になる場合がございます。

※「地域社会・文化論」は、クォーター制度を導入している学部の科目です。6月10日(火)から8月4日(月)までに週2回実施、全15回終了予定です。(4、5月の授業はありません)

### <開講時限について>

- 1 限: 9 時 00 分～10 時 30 分
- 2 限: 10 時 40 分～12 時 10 分
- 3 限: 13 時 00 分～14 時 30 分
- 4 限: 14 時 40 分～16 時 10 分
- 5 限: 16 時 20 分～17 時 50 分

※前期(第2クォーター)の授業は6月10日(火)から開始致します。

※授業は週2回、全15回実施予定です。

※受講人数により開講しない場合があります。

### (2) 場所

#### ◆淑徳大学 埼玉キャンパス

〒354-8510

埼玉県入間郡三芳町藤久保 1150-1

※車での通学はできません。

#### 【無料スクールバスのご案内】

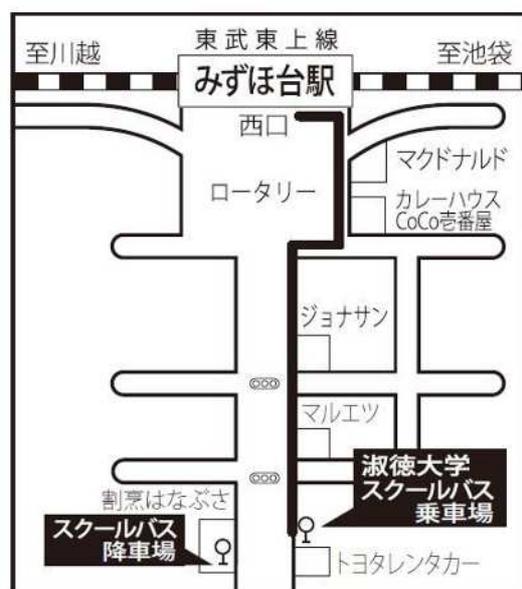
・東武東上線「みずほ台」駅西口より運行(所要時間約10分)

※みずほ台駅西口からスクールバス乗車場まで徒歩5分

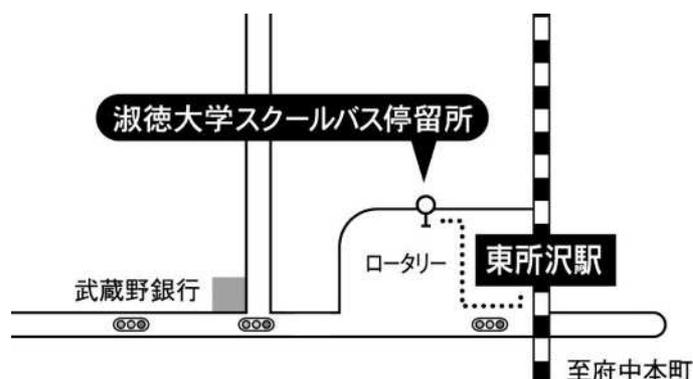
・JR武蔵野線「東所沢」駅前より運行(所要時間約20分)



【みずほ台駅】



【東所沢駅】



2 受講料等

(1) 受講料

1 科目 10,000 円

※一旦納入された受講料につきましては、原則として返金は致しません。

(2) その他

教科書等の教材は自己負担によりご用意していただきます。

3 受講の申込み

(1) 申込期限

令和7年2月27日(木) 必着

(2) 申込先

〒354-8510 埼玉県入間郡三芳町藤久保 1150-1

淑徳大学埼玉キャンパス 学事(教務担当)

TEL 049-274-1511(平日:9:00~16:30)

E-mail [kyomu@u.shukutoku.ac.jp](mailto:kyomu@u.shukutoku.ac.jp)

(3) 申込方法

E-mail のみの受付となります。以下の事項を漏れのないよう記入のうえ、お申込みください。

※E-mail 以外でのお申込み方法では受付不可となりますのでご注意ください。

メールの件名は【埼玉県開放授業講座】と明記してください。

- ① 郵便番号・住所
- ② 氏名  
ふりがな
- ③ 生年月日・年齢(令和7年4月1日現在)
- ④ 性別
- ⑤ 電話番号
- ⑥ メールアドレス
- ⑦ 受講希望科目

(3) その他

① 受講者多数の場合の対応

定員を超える申込みがあった場合は、抽選により受講者を決定します。

※受講の可否および受講決定科目は申込者全員にお知らせいたします。

② 受講前のご案内資料について

3月中旬～下旬頃に、受講前のご案内資料をご送付いたします。

③ 胸部 X 線結果の提出について

大学では多くの学生、教職員がおりますので、学校感染症の予防、そして蔓延を防ぐため、結核検診が必要と定められています。詳細については送付予定の資料にてご案内いたします。

#### 4 授業科目の概要及び担当教員

<p>地域社会・文化論 (石田 仁) (内山 大介)</p>	<p>この授業は、前半を石田が、後半を内山が担当します。試験はそれぞれが行います。前半では、村落、離村向都、都市についての社会学的諸概念から地域社会をとらえる視点を獲得します。村落と都市の違い、イエ制度、農業政策、都市問題、社会事業の発生、郊外の形成、都心の再開発などを扱います。後半は民俗学の理論や概念を具体的な事例もふまえながら学びます。柳田国男と民俗学の成り立ち、生活の中のハレとケ、観光化・商品化と民俗(フォークロリズム)などが主なテーマになります。</p>
--	---

## 1 講座名・定員など

## (1) 授業科目

科目名	実施時期	曜日	時限	授業時間	定員
レクリエーション論	前期	水曜	2時限	11:00～12:30	若干名

※授業は15回の予定です。令和7年4月9日（水）から開始します。

※原則は対面授業を行います。担当教員の都合により、オンデマンド授業を行うことがありますので、予めご了承ください。

## (2) 場所

## 武蔵丘短期大学

東武東上線東松山駅、東口3番バス乗り場から「免許センター」行きまたは「鴻巣駅」行きバスで7分（川越観光バス・有料）

またはJR鴻巣駅、西口バス乗り場から「東松山駅」行きバスで約20分（川越観光バス・有料）または自家用車（駐車場有り・無料）



## 2 受講料等

(1) 受講料 1科目（半期）につき10,000円（初講日に徴収）。

(2) その他 教科書等の教材は自己負担によりご用意していただきます。

### 3 受講の申込み

(1) 申込期限 令和7年3月15日(土) (必着)

(2) 申込先

〒355-0154 埼玉県比企郡吉見町南吉見 111-1

武蔵丘短期大学 教務課

電 話 0493 - 54 - 5101(代)

F A X 0493 - 54 - 6756

(3) 申込方法

はがき又はFAXにて以下の事項をもれなく記入の上、お申し込みください。

(1) 郵便番号、住所

(2) ふりがな氏名

(3) 性別

(4) 生年月日、年齢 (令和7年4月1日現在)

(5) 電話番号

(6) 受講希望科目名

(4) 選抜方法

定員を超える申込みがあった場合は、抽選により受講者を決定します。

(5) その他

受講許可については3月25日頃にお知らせいたします。申し込み後に、都合により受講できなくなった場合は早めにご連絡ください。受講ができなくなった場合、受講料等はいただきません。ただし、一旦納入された受講料につきましては、お返しすることはできませんので、予めご了承ください。

### 4 各授業科目の概要及び担当教員

<p>レクリエーション論 (福島 邦男)</p>	<p>レクリエーションが必要とされてきた歴史・社会的な背景について学び、生活における生きがいづくりとしてのレク支援活動を理解する。ホスピタリティトレーニングやアイスブレイキングについての知識を深め、障がい形態別のレクについても学ぶことで、豊かな人間性を備えたレクリエーション支援者となることを目指す。</p>
------------------------------	--

にほんしゃかいじぎょうだいがく  
日本社会事業大学

## 1 講座名・定員など

### (1) 授業科目

科目名	実施時期	曜日	時限	授業時間	定員
子ども家庭福祉論 I	前期 (4~7月) 4/7(月)~7/31(木) (補講日含む)	月	1	9:00~10:30	若干名
高齢者の理解と援助		金	3	13:00~14:30	
心理学		金	4	14:40~16:10	

### (2) 場所

日本社会事業大学 東京都清瀬市竹丘 3-1-30

(西武池袋線「清瀬」駅下車 清瀬駅南口バスターミナルより「下里団地行」又は「花小金井駅行(下里団地経由)」「滝山営業所行」で「社会事業大学前」下車すぐ)

※車での通学はできません。



## 2 受講料等

(1) 受講料 1科目につき 7,500 円

(2) その他 教科書等の教材は自己負担でご用意いただきます。

## 3 受講の申込み

(1) 申込期限 2025年3月3日(月)

(2) 申込先

〒204-8555

東京都清瀬市竹丘 3-1-30

日本社会事業大学 大学教務課 開放授業講座係

電話：042-496-3107

E-mail：gakubu2020@jcsu.ac.jp

## (3) 申込方法

E-mailにより、以下の事項をもれなくご記入の上、お申込みください。

- ①住所
- ②氏名（フリガナ）
- ③生年月日、年齢（令和7年4月1日時点）
- ④電話番号
- ⑤受講希望科目（何科目でも可）

## (4) 選抜方法

定員を超える申込みがあった場合は、抽選により受講者を決定します。  
受講の可否、受講決定科目は申込者全員にお知らせします。

## (5) その他

原則、対面授業を予定しておりますが、場合によって、オンライン授業（例：Zoom、課題提示）との併用になる可能性がございます。

この場合、学内ではなくご自宅等において、お持ちの端末で受講してください。

※インターネット通信環境に関するサポート及び、端末の貸し出しはございませんので、ご了承の上、お申込みください。

## 4 各授業科目の概要及び担当教員

子ども家庭福祉論 I (有村 大士教授)	過去から現在までの子ども家庭福祉の取り組みや、子どもを取り巻く状況についての基本的な知識を身につける。また子ども家庭福祉の課題に取り組むにあたり、必要な価値概念を検討する。
高齢者の理解と援助 (下垣 光教授)	この講義では、老年期におこる身体的、社会的、心理的な様々な課題についての理解をすすめることが学習の中心的なねらいである。高齢者に直接的に関わる福祉保健領域の仕事に就くか、あるいは就かないかかわらずこれらの課題の特性について基本的な知識をもつことは必要であるといえよう。老年期における様々な課題を理解していることは、人間そのものの身体的、心理的な発達のプロセスなかでの理解や、現代の社会生活、家族のあり方など問題を考えることにもつながるものと思われる。 本講義では、まず援助・ケアにおいて必要である、対象者（この講義では、高齢者とその家族がその対象といえよう）の理解に重点をおいた内容で構成する。さらに講義においては、学習したこれらの基本的な知識を活用し、実際の事例における分析や、援助計画を立案できる力をつけることも講義のねらいに加える。また講義の後半では、認知症のある高齢者の直面する課題を取り上げる。認知症になることにより生じる問題だけでなく、その人自身の視点に立った支援が行えるための視点を育むことは、高齢者の有する能力や社会的な役割を尊重していくことにつながる。
心理学 (下垣 光教授)	講義内容は、記憶、認知、学習等の心理学の基礎知識に加え、障害者の心理、高齢者の心理、社会福祉実践に応用する心理学等、可能な限り実践的内容を盛り込む。社会福祉現場で活かせる支援方法の基礎を習得し、対人関係に人間の関係性を理解し、関係形成に必要なコミュニケーションの基礎的な知識を学習する。

大学別・科目別一覧表

大学名	科目名	曜日	時限	授業時間	授業の実施方法	受講料	募集締切
聖学院大学	キリスト教概論A(※1)	火	4	14:40~16:10	対面授業 状況によりオンライン 授業になる可能性あり ・(※1)は4クラスのう ち、1クラス選択 ・(※2)はオンライン 授業を含む ・(※1) 授業は週1回 その他の授業は週2回	週1回科目 5,000円 週2回科目 10,000円	2月28日(金)
		金	1	9:00~10:30			
		金	3	13:00~14:30			
		金	5	17:00~18:30			
	法学	月	1	9:00~10:30			
		木	4	15:20~16:50			
	アメリカの社会と文化	火	4	15:20~16:50			
		金	4	15:20~16:50			
	アメリカ大衆文化	月	4	14:40~16:10			
		木	4	15:20~16:50			
	日本文学概説	金	4	15:20~16:50			
		金	5	17:00~18:30			
	歴史と文化	火	3	13:00~14:30			
		火	4	15:20~16:50			
	英米児童文学(※2)	月	3	13:00~14:30			
オンライン							
精神保健福祉制度論	火	5	16:20~17:50				
福祉心理学	木	2	10:40~12:10				
日本薬科大学	生活習慣病学*	月	1	1限 9:15~10:45 2限11:00~12:30 昼休12:30~13:30 3限13:30~15:00 4限15:15~16:45 5限17:00~18:30 *印の講義は8~10回 それ以外の講義は14~16回を 予定しています。	お茶の水キャンパスと同 時授業を行うため、講義 によってはオンライン講 義になる可能性あり	10,000円	3月19日(水)
	循環・泌尿器系疾患と薬	月	1				
	本草学*	月	1				
	薬学化学*	月	2				
	公衆衛生学	火	1				
	人体を構成する器官	火	2				
	病原微生物学	火	2				
	健康食品学	水	2				
	運動生理学	木	1				
	薬と化学Ⅱ	木	1				
	実践医療薬学*	木	1,2				
	健康科学概論	木	2				
	悪性新生物と薬	木	2				
	基礎化粧品論	金	3				
	総合薬学科学	不定期	不定期				
東京国際大学	高齢者福祉	火・金	3	3時限 13:20~15:00	対面授業	10,000円	3月7日(金)
東邦音楽大学	民族音楽学A	水	4	14:20~15:50	対面授業	10,000円	3月14日(金)
	音楽心理学A	木	4	14:20~15:50			
埼玉県立大学	公的扶助論	火	4	14:40~16:10	対面授業 ・場合によりオンライン になる可能性あり ・全ての科目でインター ネット授業支援システム を利用し連絡を行う場合 あり	10,000円	2月28日(金)
	宗教学	水	1	9:00~10:30			
	高齢者福祉論	水	4	14:40~16:10			
	ソーシャルワーク概論Ⅰ	木	5	16:20~17:50			

大学別・科目別一覧表

大学名	科目名	曜日	時限	授業時間	授業の実施方法	受講料	募集締切
埼玉東萌短期大学	情報メディアとコミュニケーション	木	5	16:30~18:00	対面授業	10,000円	3月14日(金)
	日本語表現	金	5	16:30~18:00			
埼玉大学	現代国際経済論	火		19:40~21:10	必要が生じた場合オンラインで受講	9,800円	2月28日(金)
城西大学	近世の日本史 I	2 月 中 旬 お 知 ら せ の 予 定		1時限 9:15~11:00 2時限 11:10~12:55 3時限 13:45~15:30 4時限 15:40~17:25 5時限 17:35~19:20  ・時間帯は変更される場合があります。	・社会情勢及び、授業担当者の都合により、オンライン授業(オンデマンド)に変更の可能性あり	10,000円	2月28日(金)
	地方自治論						
	経営分析 I						
	エネルギー科学基礎						
	生活と化学物質 I						
	ジェンダー論 I						
	接客英語 I (CR英語)						
西武文理大学	コンシェルジュ論	木	1	9:30~11:00	対面授業 ・一部オンライン形式 などの変更あり	10,000円	3月3日(月)
	中小企業論	木	1	9:30~11:00			
十文字学園女子大学	芸術を読みとる	月	1	1限目 9:00~10:30 2限目 10:40~12:10 3限目 13:00~14:30 4限目 14:40~16:10 5限目 16:20~17:50	対面授業 ・状況によりオンライン授業に切り替える可能性あり	10,000円	3月7日(金)
	日本文学論B	月	3				
	日本語学入門	月	3				
	日本語学A	月	4				
	地域コミュニティ論	月	4				
	健康食育論	火	2				
	恋愛と結婚の科学	火	2				
	食育論	水	2				
	日本と異文化	水	2				
	グループダイナミクス	金	2				
	児童学概論	土	1				
東京電機大学	戦争と平和の歴史	月	2	1時限 9:20~11:00 2時限 11:10~12:50 3時限 13:40~15:20 4時限 15:30~17:10	対面授業 ・状況によりオンライン形式となった場合、 受講を中止	10,000円	3月14日(金)
	歴史学	月	3				
	化学A	水	1				
	多文化コミュニケーションA	水	2				
	世界経済の現在	金	2				
	欧米文化研究	金	2				
	歴史学	金	3				
	教養ゼミナールA	金	4				
埼玉工業大学	機械工学概論	木	4	1時限 9:10~10:50 2時限 11:00~12:40 3時限 13:25~15:05 4時限 15:15~16:55 5時限 17:05~18:45	対面授業	10,000円	3月7日(金)
	工業法規	木	4				
	生態環境科学	木	1				
	生活の科学	木	4				
	人工知能入門	火	5				
	社会学概論	月	1				
	産業心理学	木	1				
	臨床心理学	水	3				

大学別・科目別一覧表

大学名	科目名	曜日	時限	授業時間	授業の実施方法	受講料	募集締切
東都大学	生活科学	木	1	9:15~10:45	対面授業 ・状況によりオンライン授業の可能性あり	10,000円	2月14日(金)
	フランス語	木	1	9:15~10:45			
	人間の生き方(渋沢栄一・論語)	火	2	10:55~12:25			
文京学院大学	1.世界のこどもたち	未 定		1限 9:10~10:40 2限 10:50~12:20 3限 13:10~14:40 4限 14:50~16:20 5限 16:30~18:00  No.1~5は「人間学部」の科目 No.6~8は「保健医療技術学部」 の科目	対面授業	10,000円	2月28日(金)
	2.社会福祉入門						
	3.貧困に対する支援						
	4.知覚・認知心理学Ⅱ						
	5.比較文化論						
	6.ヒューマンバイオロジー(理学)						
	7.ヒューマンバイオロジー(作業)						
	8.高齢期作業療法評価学						
日本工業大学	人間工学	金	3	13:20~15:00	対面授業 ・状況により変更や中止になる可能性あり	10,000円	3月3日(月)
	電気情報工学の基礎	月	4	15:10~16:50			
	資源循環工学	月	3	13:20~15:00			
	機械技術史	水	2	10:50~12:30			
	日本建築史	水	1	9:00~10:40			
	福祉施設の計画	金	1	9:00~10:40			
淑徳大学	地域社会・文化論 (第2クォーター)	火	1	9:00~10:30	対面授業	10,000円	2月27日(木)
		木	4	14:40~16:10			
武蔵丘短期大学	レクリエーション論	水	2	11:00~12:30	対面授業 ・都合によりオンデマンド授業の場合あり	10,000円	3月15日(土)
日本社会事業大学	子ども家庭福祉論Ⅰ	月	1	9:00~10:30	対面授業 ・場合によって、オンライン授業との併用になる可能性あり	7,500円	3月3日(月)
	高齢者の理解と援助	金	3	13:00~14:30			
	心理学	金	4	14:40~16:10			

## 【協定大学一覧】

	大学名	所在地
1	聖学院大学	上尾市
2	日本薬科大学	伊奈町
3	尚美学園大学	川越市
4	東京国際大学	川越市
5	東邦音楽大学	川越市
6	ものづくり大学	行田市
7	埼玉県立大学	越谷市
8	文教大学	越谷市
9	埼玉東萌短期大学	越谷市
10	国際学院埼玉短期大学	さいたま市大宮区
11	埼玉大学	さいたま市桜区
12	浦和大学	さいたま市緑区
13	城西大学	坂戸市
14	女子栄養大学	坂戸市
15	西武文理大学	狭山市
16	十文字学園女子大学	新座市
17	東京電機大学・大学院	鳩山町
18	埼玉工業大学	深谷市
19	東都大学	深谷市
20	文京学院大学	ふじみ野市
21	日本工業大学	宮代町
22	淑徳大学	三芳町
23	武蔵丘短期大学	吉見町
24	日本社会事業大学	東京都清瀬市



# 皆様の御参加お待ちしております

- 難しい内容の講座もありましたが、先生の熱意あるご指導のおかげで最後まで受講することができました。
- 興味、関心のある科目を受講し、とても有意義な時間をもつことができました。

- 受講者の皆さまの声を一部ご紹介します。



埼玉県マスコット  
「コバトン」「さいたまっち」

- 知らないことばかりで、もっと真剣に勉強しなければと思いました。
- 中間試験・期末試験に参加でき、充実した学生生活をおくることができました。
- 実習にも参加させていただき、とても有意義な授業でした。
- 今後も新しい講座を受講したいと希望します。

埼玉県福祉部高齢者福祉課

住所：埼玉県さいたま市浦和区高砂3-15-1

電話：048-830-3263 / FAX：048-830-4781